

予算審査特別委員会

日 時 令和5年3月7日（火）

9：00～15：47

場 所 議場

出席者 委員長、副委員長、委員7名（欠席：なし）、山本議長
説明員 実延総務課長、弓場人権センター館長、岸防災監、川上室長、坪倉参事
島山企画課長、伊田専門監、榎尾室長、金田室長
傍聴者 なし
書 記 浅田事務局長、川上書記、佐伯書記

○久代委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから、昨日6日の本会議において付託になりました令和5年度各会計予算10議案について審査を行います。

審査日程につきましては、あらかじめ配付されたとおりです。

審査の進め方については、一般会計、特別会計、事業会計を問わず所管課ごとに説明を受け、その後、質疑、討論、意見集約を行います。特に指摘すべき事項等がありましたら各委員からの発言を求めますので、発言していただきますようによろしくお願ひします。

なお、3月15日の最終総括では、意見の調整、討論、そして討論、採決をします。この会議はフリートーク方式で行いますが、発言許可をした後、起立の上、簡潔明瞭にお願いいたします。なお、発言を求めるときは、発言ボタンを押した上、挙手をお願いいたします。

また、傍聴については、日南町議会傍聴規則を準用します。

それでは、本日の日程によりまして、まず総務課の審査を始めますのでよろしくお願ひいたします。

総務課長。

○実延総務課長 失礼いたします。改めまして、おはようございます。本日から予算審査特別委員会ということで午前中、総務課、どうぞよろしくお願ひいたします。

説明に入らせていただきます前に総務課の説明員を紹介させていただきます。本日は、私と、隣から弓場人権センター館長、岸防災監、後席になりますが川上財務室長、坪倉参事、以上5名で説明させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、委員長からございました説明、冒頭でございます。令和3年度決算審査特別委員会の意見について、どのような対応をしたのか御説明に入らせていただきます。

総務課でございます一般管理事務でございます。ファイリングシステムについてございました。情報の共有や業務の執行が円滑に行われるよう、ファイリングシステムの有効活用に取り組みたいという御指摘を踏まえまして、改めまして現状の課題に対してどのように改善していくのか、現状は各課や職員により取組にばらつきがございます。そういったところも職員の共通理解と全体での取組が先決であるとの判断から、改めてファイリング研修を行い、基本となる必要性や実施方法の理解を深めるよう努めたところでございます。講師からは厳しい指摘を頂戴いたしました。しかしながら真っすぐに改善には至っておらず、日々の取組が重要でございますので、新年度からは新たに自主点検を定期的に行い、取組を促す計画としているところでございます。具体的には、毎月、日にちを定め各課により自主点検と声かけを行い、執務室内の整理整頓、特に公文書を机に重ねたままにしているかなど、文書管理を適正に行う機会を増やし、意識の向上、改善を図ってまいりたいと考えております。

それから、もう1点、一般会計の歳入と基金について。林業後継者育成対策事業について意見を頂戴しております。具体的には、森林環境譲与税による積み立てられた森林整備基金の明確なビジョンを示すとともに、森林環境譲与税の使途を会計年度独立の趣旨に沿って分かりやすく明示されたいという御指摘でございましたが、詳細につきましては、また農林課所管事業の聞き取りになろうかとは思いますが、ビジョンの基本につきましては、国から示されているとおりの目的を使途に忠実に実行していくことであろうかと思っております。その使途につきましては、実績につきましては、ホームページにて公表させていただいております。なお、令和5年度につきましても、活用予定の事業はある程度見込んでございますけれども、計画しておりますけれども、森林環境譲与税以外にも活用できる財源が現在ございますので、そういった動向も見ながら有効な財源を活用していきたいと考えております。

以上、令和3年度決算審査意見への対応についての御説明とさせていただきます。

○久代委員長 ただいま総務課長から令和3年度の決算についての審査意見についての説明がありましたけど、皆さん、この際発言があれば求めますけれども、どうでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

それでは、続いて、令和5年度の予算説明について入っていきますので、よろしくお願

いします。

實延総務課長。

○實延総務課長 そういたしますと、令和5年度当初予算説明附属資料に基づいて説明させていただきます。

まず4ページ、一般管理事務でございます。予算額3億676万円、比較630万1,000円の増額でございます。主な増額理由でございますが、パートタイム会計年度任用職員報酬を人員配置計画により1名分増としております。また、フルタイム会計年度任用職員、給与、人数に変更はございませんが、うち1名は、ふるさと納税地域おこし協力隊員の配置を計画してございます。詳細は、153ページの新規説明資料を御確認賜ればと思います。

ふるさと納税の目標額は8,000万円としており変更ございませんが、今年度もなかなか目標達成には遠い数字となっております。紹介企業の強化を図るために、報償費、役務費を若干増額してございます。また、新たに年末調整システム導入委託料を計上しております。オンライン化することによりまして、現状と比較して127時間の削減、費用対効果が見込まれるという判断から導入を計画してございます。その他の事業につきましてはほぼ例年並みでございますが、来年度から2年間の予定で地域活性化センターへの職員派遣研修を計画してございます。1名でございます。

また、LED防犯灯設置補助事業でございますが、制度設置から10年が経過し、当初の目的もおおむね達成したのではないかという中で、内部で現在見直し検討を行ってございます。新規分につきましては、令和6年度まででの終了。継続分については当面継続する形で引き続き検討を行ってまいります。その他の執行経費、財源につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、5ページ上段、職員健康福利厚生事業でございます。予算額447万8,000円、比較14万2,000円の増額でございます。内容は大きく変わっておりませんが、職員のキャリア支援業務委託料が昨今の物価高騰等の影響から増額となっております。また、研修内容もより工夫し、個別対応と組織としての課題対応、職場環境の改善など、計画立てて行う予定としております。執行経費につきましては、記載のとおりでございます。

続いて、下段、文書管理事務でございます。予算額314万9,000円、比較36万6,000円の減額でございます。主な増減でございますが、これまで紙媒体で購読して

おりました官庁速報を i JAMP というデジタル版に変更し、よりスピーディーな情報収集を行うことを予定してございます。そのライセンス使用料が 39 万 6,000 円の増、また、令和 4 年度に実施しました職員の定年延長に係る例規整備支援業務が 70 万 4,000 円ございました。皆減してございます。その他の執行経費については記載のとおりでございます。

続きまして、6 ページ上段、財政管理事務でございます。予算額 6 万 6,000 円、比較 1,000 円の増額でございます。物価高騰等の影響により書籍の単価が上がったものでございます。

続いて、下段、町有財産整備管理事務でございます。予算額 2,137 万円、比較 178 万 9,000 円の増額でございます。主な増額要因でございますが、旧日野上小学校体育館のトイレを洋式化、修繕料として 133 万 1,000 円を計上してございます。また、委託料の総合管理計画マネジメント支援経費でございますが、新たに GIS と連携したシステムの導入、地図情報の追加等、施設情報の充実を計画しており、72 万 6,000 円の増となっております。その他の執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、7 ページ上段、庁舎管理事務でございます。予算額 5,750 万 9,000 円、比較 2,621 万 9,000 円の増額でございます。主な増額要因ですが、光熱費の高騰を見込み需用費を増額しております。また、新規事業としまして、庁舎装飾灯、外壁の塗り替え工事、災害時の備えとしまして庁舎開口部防水板設置工事を行う予定でございます。装飾灯の工事には、公共施設等建設基金を充当予定でございます。その他の執行経費、税源につきましては記載のとおりでございます。

続いて、下段、庁用自動車管理事務でございます。予算額 954 万 9,000 円、比較 195 万円の減でございます。減額の要因でございますが、備品購入費について令和 4 年度はミニバンを購入し、令和 5 年度は軽バンを購入する予定としております。その差額が 207 万 4,000 円の減、その他車検費用が若干増額となっております。その他の執行経費は記載のとおりでございます。

続きまして、8 ページ上段、交通安全対策事業でございます。予算額 174 万円、比較 13 万 7,000 円の増でございます。交通指導員の任期替えに伴い制服等需用費の増額、また、黒坂署管内で例年行っております 100 日セーフティー作戦というのがございますが、役場全体で毎年 10 人程度の参加でございますけれども、人数を増やして参加をし、

安全意識の向上と黒坂署管内の活動に寄与する計画としてございます。その他の執行経費は記載のとおりでございます。

続いて、下段、自衛官募集事務でございます。昨年度と同額の2万円を計上。例年どおり募集事務の協力を行ってまいりたいと思います。

続いて、9ページ上段、選挙管理委員会一般事務でございます。予算額は昨年度と同額の16万2,000円でございます。年4回の委員会開催経費、明るい選挙推進協議会経費など、例年どおりの事業を予定しております。

続いて、下段、町議会議員選挙執行事務でございます。予算額1,004万1,000円、比較880万円の増でございます。4月18日告示、4月23日投開票の町議会議員選挙経費を計上してございます。4年前の当初予算と比較いたしますと158万円の増額となっております。要因としましては選挙公営費の増でございます。

続きまして、10ページ上段、県知事及び県議会議員選挙費でございます。予算額583万2,000円、比較169万9,000円の増でございます。県知事選の告示が3月23日、県議選の告示が3月31日、投開票日は4月9日の日程となっており、必要経費を計上してございます。財源につきましては県委託金でございます。

以上、総務費までの説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○久代委員長 総務費を今説明してもらいましたので、早速項目ごとに審査を行います。

まず、4ページ上段、一般管理事務について。

櫃田洋一委員。

○櫃田委員 このふるさと納税の専任職員、地域おこし協力隊を1名充てるということで数日前から少し話があるんですけども、今現在、これは決まって確定というか、決まっておりますでしょうか。

○久代委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 現在、募集を行っておりますが、現時点ではまだ応募に至っておりません。

○久代委員長 櫃田委員。

○櫃田委員 3月もう、もうすぐ1週間ほぼ終わりました4月まであと僅かで、新年度すぐのスタートはなかなか難しいかもしれませんが、地域おこし協力隊の募集がなかなかない状況で、全国の市町村が地域おこし協力隊を募集してて、やはり条件のいいところ、魅力があるところを求める人もいる中で、日南町としてどのように、今後といたしますか、

確実にこの専任職員を採用される取組を行われますでしょうか。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 非常に人材の確保という観点では厳しい状況に直面をしております。ただ、現在もつながりのある企業、あるいはゆかりのある方々へ個別にもいろいろと連絡をしながら、候補となる方の募集に努めてございます。そういった中で、なかなか確保に至らないという場合においても、引き続きいろいろな募集活動の中では、そういったいろいろ各種募集するところへ出向いていきたいと考えておりますが、少しでも早く地域おこし協力隊としての任務を果たしていただける方を募集するのが務めだと思っております。ただ、経過の中では、今、委員おっしゃいましたように、全国的にも非常に競争が激しくなってきております。条件等も見直した経過の中ではしっかりPRしてまいりたいと考えております。以上です。

○久代委員長 岩崎昭男委員。（「委員長、私でしょ」と呼ぶ者あり）

岩崎委員、後でよろしいですか。

○岩崎委員 はい、いいですよ。

○久代委員長 大西保委員。

○大西委員 私は3点ばかり質問あります。

まず、先ほど同僚委員もふるさと納税の件を言われましたが、私は目標額について質問したいと思います。というのは、町長は4年ほど前から1億1億と言っておられました。そうして令和3年度は6,000万、4年度は8,000万、5年度は8,000万、全て実績に対して相当な乖離があるわけ、2倍、3倍。その辺の認識はどうなんですか。例えば、もっと現実を見て5,000万にするとかいうことでないかね、経営的には、私は、町は経営者じゃないんでいいんですけども、あまりにも目標が高過ぎて、そこに持っていき、いや、江府町はいいですよ、1,500万から最終4億5,000万までいきましたけども。やはり足元を見て、本当に地道に汗かいて、どうなのかというのが一番大事だと思うんですよ。無理な数字を上げて、さあ8,000万向かえって言えますか、その辺はどうなんですか。私は、この目標数値1億で令和3年は高過ぎから下げた、6,000万円にした、それで8,000万が2年続いた、実績は3,000万、2,000万。課長、どう思われますか、その感覚は。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 委員、ただいまおっしゃいましたことはもっともな御意見だと思います

し、大変理解もしてございます。しかしながら、町長が掲げます目標に対しまして、職員としましてもその目標に向かって取り組む、その意気込み等も含めて、やはり昨年度、未達でありました8,000万円は下げるわけにはいかないだろうということで同額とさせていただきます。しかしながら、御指摘のように足元をしっかりと現実を見据えた上で戦略というのは、また組立ては必要だと思っておりますので、そういったところもいま一度点検もしながら進めてまいりたいと考えております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 それによって予算の中で返礼品の金額が2,500万あるわけですね、極端なこと言うと。これが半分の4,000万であれば、これ、1,200万まで下がるわけですよ、当初予算から。それも関連するんでね、もし町長の1億言うんだったら最初から1億円と書いてくださいよ、でしょ。何でそんな変革的にぽんと変えるんか。何か言うてるのがちょっとずれとるんじゃないですか。町長が1億言うてる、だからそれに向かうんだ、でも現実8,000万だけど実際は3,000万、2,000万だと。これ予算でしょ、我々これもよく言われますね、議会が承認したからこれでいいですと、皆さん承認したでしょ言われるから、我々は責任を持ってこれを承認するためにはそこを言いたいわけですよ。だから、私は本当に現実に、本当に2,000万から8,000万が6,000万、今度ふるさと納税の担当の方、採用しますけども、現実を見てくださいよ、夢は夢でいいんですけども。もう一度、どう思われます。予算に入るんですよ、予算に入らなかったら別に計画は幾らでもいいですよ、予算ですよ、これは。どうなんですか。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 御指摘のとおり、当然、返礼品等予算にも直結してまいります。しかしながら、昨年度掲げておきながらの8,000万が未達であった、委員おっしゃいますように、では、今年度、今2,000万円強で推移しておりますけども、じゃ、そこまで下げるのかといいましたときに、そうではなく、1億円という形で最初からっていうことも考えましたが、やはり昨年度と、まずは昨年度上げておりました8,000万円というところを同額で向かおうじゃないかという整理をさせていただきました。委員おっしゃいますところは十分に理解しとるつもりでございますけども、その上で御理解はいただきたいと思いますが、今後そこに近づくような形でまた進めてまいりたいというふうに考えてございます。よろしく願いいたします。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 では、2点目、ファイリングシステム。例年研修され、いろいろ見ていただいたり巡回指導を受けて、金額が60万ぐらいなんですけど、このファイリングシステムの一番の課題は、いろんな指摘の中で何が一番課題ですか。

○久代委員長 坪倉参事。

○坪倉参事 研修を重ねておりますけども、冒頭課長が申しましたとおり、職員共通の理解が必要と考えております。どこの部署でも同じ文書管理方法によって行い、文書の管理、ファイリングシステムという一定のルールを全員が理解して進めていくということが大事でありますし、そこを理解が浅い、温度差があるといいますか、差があるところが課題であると思います。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 このファイリングシステムをされて何年になるんですか。

○久代委員長 坪倉参事。

○坪倉参事 19年ぐらいになると思います。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 もう20年近くされとるということで、ハード、ソフト、いろいろあると思うんですが、私、驚いとるのに、以前ある協約書、協定書を出してくださいと言うと、出てこなかった、なかったと。要するに、ぱっと出せる、よく言うのは3分で書類を出しなさいとよく言われるんです、民間では。本当のファイリングシステム、システムもそうなんですけども、実際にハード面で棚に積んであるものを、総務課長自身は棚を見られましたか、見てどうなってますか、見られたことありますか、つい最近。

○久代委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 総務課はじめ全体も見てございます。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 棚に段ボールでがぱっと入ってませんか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 御指摘のとおり確認もしてございます。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 臭い物に蓋をするんじゃないですけども、私も中に立場上入れませんから、たまたまドアが開いたんで見たんですけど、それで言ってるんですよ。まあという感じしたんで、もう19年もやっておるならば本当に、それで毎年新しい方も入ります。そ

の種の研修はいいでしょう。でもね、町民が困ったときに、この書類はというときにさつと出せるようなファイリングシステムだと思うんですよ。それでなかったらどっか遠いとこ持っていったときゃいいんですよ、庁舎の中にある。

それと、もう一度、来年度はこれを有効活用していただいて、60万円のファイリングシステム予算ですが、きちっとしていただいてやっていただきたいんですが、まず意気込みをちょっとお聞きします。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 冒頭の説明でも申し上げましたが、日にち定めて各課でしっかりとした取組となるように、改善できるように努めたいと思います。今、御指摘いただいておりますことは、やはり基本的な基本中の基本であろうかと思っております。そういったことが目に見える形となるように努めたいと思います。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 では、3点目、これが私のこのページの最後の質問です。職員研修の負担金170万あります。昨年でしたら職員研修については、職員研修等一般研修で110万と50万、170万近いんですが、なぜ今回は、恐らくこれを2つ足してされたと思うんですが、なぜ分けられたのかをお伺いします。

○久代委員長 職員研修の負担金について。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。委員御指摘のとおり、昨年度まで研修負担金について職員研修の部分、ちょっと2段書きで書いておりましたけれども、見やすくといいますか、同じような負担金が数多く並んでるという中で、同じ職員研修という部分ですので1つにまとめさせていただいたというような状況でございます。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 そうしましたら、職員研修と一般研修と何が違うんですか。去年は2つ分かれとったわけでしょ。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 そうですね、一般研修と職員研修の違いですけれども、おおむね当初から若干計画的に予定されていたような研修であったり、あとは、若干年度が進む中で、そういう情報を収集する中で、新たに各課のほうで研修が必要になったというような場合に執行するような内容という、そういう区別だったかと認識しております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 私はね、研修とはいろいろあると思うんですよ。実際の実務で役に立つ研修と、その職員のスキルアップ、レベルアップするための研修、そして、例えばランクが上がってくためのいろいろ研修あると思うんです、物すごい研修は重要だと思うんですよ。昨日も同僚議員がOJTでいうこと言われました、OJTは仕事しながら部下指導するのがOJTで、実際にオンに対してはオフなんでね、OFF-JTなんですよ、こういった研修は、これ重要なんですね、やはりスキルアップするために、本当に専門家のとこ行ってやるわけですよ。ですから、それはやっぱり明確にして、例えば管理職研修であるとか、一般職研修だとか、実際に身につける研修であるとか、やはりそれは区別して、一緒にまとめるんじゃないしに、これが日南町の職員さんが将来、課長になり、部長に、いや、部長になるというか、いろんな役職に就いていく、専門家になるための重要な研修だと思うんですよ。研修なくして育ちませんので。両方ですよ、OJTもOFF-JTも一緒です。重要だと思ってます。金額は60万かもしれない、これは将来の皆さんがレベルアップするための、町民のための研修なんで、これは充実してください。逆に上げていいぐらいで、その成果はやはり将来の皆さん方、町民に対するサービスですからね。ですから、できる限りまとめず、本当言うたら管理職研修であるとか、本当に新入社員研修であるとか、よくあるのは新入社員3年までは新入社員と同等の研修もあるんだ、やはりそれはまとめるんじゃないし区別してきちっとやってかないと、総合的に研修しただけの実績じゃないしに、スキルアップのため、レベルアップのためにやっていただきたい。その辺はいかがでしょう。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 御指摘の趣旨を踏まえまして、今回、省力というわけではございませんがまとめさせていただきましたが、その辺りは今後、明確にできるように努めたいと思います。

○久代委員長 岡本健三委員に印がしてあったけど。（発言する者あり）

ごめんなさい、岩崎昭男委員。

○岩崎委員 何点かあります。まず、地域おこしの関係ですけれども、この間総務課長のほうが、地域おこし協力隊の採用というのが募集の情報とかいうのがなかなかスムーズにホームページに出てないということで、その辺の一元管理をされるということをおっしゃいました。地域おこし協力隊は町の職員であったり、あるいは委嘱したりとかいう位置づ

けになると思うんですけども、この管理は、一元は、管理する大本はどこになりますか、総務課ですか、企画課ですか、それとも各課ですか。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 最終的にはそれぞれの所管課が現場では動いてまいりますが、総括につきましては企画課、その中での町職員の採用につきましては総務課、それぞれの隊員の活動については所管課というような整理で現在させていただいております。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 そうしますと、募集については企画になるわけですか、ほんなら、すみませんけど。教育委員会があつたり総務課があつたりいろんな課が採用を予定しとるんですけども、たまたまホームページのことから考えると企画課が所管であるから、そこに出す情報っていうのは企画課がやるんだよということですか。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 御覧いただいたかもしれません。現在、町のホームページ、お開きいただきますと、下段にスクロールしていただくと、地域おこし協力隊というところを設けさせていただきました。それぞれの募集の内容につきましては、所管課が企画立案いたしまして、それを決裁をもって決定しております。その上で、募集の問合せ先等も所管課にしてございます。ただ、ホームページといったような一元的なところにつきましては企画課が所管いたしますし、採用の、町職員の募集、面接等になりますと総括は総務課で行うといったような形で、多少分かりにくい部分もございますが、そのような形で便宜を図らせていただいております。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 よく分かりました。

それと、次ですけども、総務課長、口頭ではさらっと流されましたけれども、地域活性化センターへの派遣、説明資料にはその言葉が一つも載っておりませんが、さらっと言葉で流すだけぐらいの簡単な話でしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 口頭で申し上げましたのは人事配置等のこともございます。ただ、職員の研修につきましては、令和5年度、新たにそういった形での派遣によります研修というものも今、計画させていただきました。その辺りは、そのみならずいろいろな形での研修というのもあろうかと思えます。そういう面では記載はしてございませんでしたけども、

そういう予定でありますということをあらかじめ御説明させていただいたという経過でございます。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 そうしますと、ちょっと地域活性化センターいったら東京にある分ですかね。東京にある団体への派遣ですか、それとも。ちょっとそれと、期間は1年間、目的は研修、これでよろしいですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 まず、場所でございます。委員おっしゃいましたように東京でございます。期間につきましては2年間を今のところ予定してございます。先どうなるか分かりませんが、その予定でございます。それから、目的につきましては、地域活性化センターにつきましては、御承知のとおり全国様々な地域と関わりが強い団体でございます。そういったところで教養を身につけ、また帰ってきて町民の皆さんにお返しするような形を目指してございます。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 研修って最初は言われましたけれども、やはり今の、例えば地域おこしの協力隊の採用とか、新たな情報の収集とか、まさに私はここに派遣するのであれば、研修ではなくって業務じゃないかと私は思うんですけども。研修でというよりは、どちらかっていったら、やはり中央の情報を収集する役割というものを明確に割り当ててやるべきじゃないのかなと思うんですけども、今後その辺の活躍については逐次確認をさせていただきたいと思います。

それと、文書管理なんですけれども、先ほど同僚委員がいろいろとおっしゃいましたけれども、企画課のほうに、企画課のちょっと予算になってたんですけども、文書管理システムの導入というのがあります。私、思うんですけれども、大きな情報基盤の整備とか基本的な部分は企画課がやるべきものだと思うんですけども、文書管理の所管課は総務課だと思うんですよね。今やってるファイリングの仕組み、それプラス今度文書管理のシステムを入れる、この辺の考え方はどうでしょうか。

○久代委員長 實延課長。

○實延総務課長 経過から申し上げますと、現在、御承知のとおりDXの推進という形でアクションプランを設けてございます。その一環として文書管理、決裁システムの導入について進めて予算化させていただいておりますけれども、御指摘のとおり文書全体の管理に

については総括は総務課でございます。現在、先ほど来、御指摘もいただいております紙によります課題も多うございますけども、改めてこの電子決裁というもの、ペーパーレスに対応した事務についても対応していくべく、決裁システムというものも併せて整理していく。そういう中では、既存の文書管理規程等も大幅に見直す必要があろうかと思っております。そういった面も一元的に整合性を、現在も課題としてございます部分も見直しを図る必要があろうかと思っております。その辺りは企画課と連携をした形で進めていくことになろうかと思いますが、今回につきましては、システムについては企画課、全体的な部分については総務課ということで進めていくことを予定してございます。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 何か既存のファイリングシステムがなかなかうまく動いてない中で、新たなシステムとして文書管理システム入れて本当に動くかなという心配は十分ございます。またここにつきましても、今後、予算執行も含めながら確認させていただきたいと思えます。ありがとうございました。

○久代委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 まず、153ページ、地域おこし協力隊、ふるさと納税担当職員ですか、これ、先ほどつながりのある企業さんとも相談しながら、連絡しながらということでしたけれども、ちょっと私、確認なんですけども、最初に、企業さんからの3年間の出向というような形ももしかして考えられるんですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 御質問といたしますか、今おっしゃった趣旨と違ってれば申し訳ございませんが、今のところその3年間の出向とかそういったことは考えてございませんが、現在ふるさと納税の事務につきましては、様々な業者さんに介入いただいて町の魅力も発信いただいております。そういった企業様とつながりがありますので、そういったつながりのある企業様に、日南町は地域おこし協力隊を今募集しておりますというようなことも御説明、御紹介しながら、どなたか人材、もしいらっしゃれば御紹介くださいというような、一例でございますけども、そういった形でのお話をしてるということで御理解賜ればと思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 分かりました。そうですね。基本的に定住定着を図る取組ですから、出向で3年で帰ってしまったら困るわけですので。

それで、ただ、そう考えたときに、仮にも会計年度任用職員ですけれども、やっぱり公務員として雇って3年間、3年間最長ですけれども働いていただくというわけで。ただ、この募集のホームページを拝見しても、何ていうか、その先の描像っていうのがなかなか浮かびにくい感じがするんですよ。いわゆる、何ていうんですかね、片仮名でいうとキャリアパスというんですかね、3年たってその後どうなるんだろうというのが。農業研修生なんかはもうはっきりしてますよね、3年、その後もずっと定着して農業やってくつていうの。これは3年間は返礼品の開発とか、ポータルサイトのサムネイルの充実とかいろいろ書いてありますけれども、3年間はそれに従事するとしても、その後自分はどうなるんだろうっていうのがなかなか思い浮かびにくくて、そうすると、これに募集してくるっていうのも相当勇気の要ることで、言っただけなんですけれども給料もそこまで高くはないわけですよね、その条件で入ってくるっていうのは、よっぽどの人じゃないと入ってこないんじゃないかというふうに私は感じるんですけれども、そういったところ、どういうふうに、もうちょっと、何ていうか、はっきりした描像を提示したほうが良いような気がするんですけど、どうでしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 現時点におきまして募集しながら応募がないということは、考え方によりましては委員おっしゃいますように、何かしらそういった部分っていうのもあるのかもしれないんですが、おっしゃいましたキャリアパスという視点におきましては、それぞれ個々の考え方によりまして、例えばこの3年間は勤めてまた次のステージへ向かうのにまた拠点を替えるという方もいらっしゃるれば、しっかりとふるさと納税、まず取り組んでみたい、その上で並行して日南町なら日南町の人たちと触れ合って、定住を見据えた形での地域おこし協力隊に勤めてみたいという方もいらっしゃるかと思います。それぞれでございしますので、そういった中においては、委員おっしゃいましたような、最初からこういうステージでという3年以降のところについて、応募があったときには個別面談の中でこういうことは想定できますとか、こういう地域ですよ、こういう活躍いただけますよということは御紹介させていただけるとは思います、より具体的な話となりますと、なかなか現実的ではないのではないかとこのように考えてございます。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 相手によるというのは確かにそうかもしれないですし、その場で話し合っただけっていうのもそれももちろん必要だとは思いますが、ただ、それにしても、例えば

地域との関係を構築する時間をたっぷり取れますよとか、例えば新製品の開発にもう直接、だから、週の1日とか2日を使ってそういうことに従事できますよとか、あるいは副業も可能ですよとかっていうことをもうちょっとはっきりと決めて、そういう可能性もあるんだということで募集したほうが割と人材も集まりやすいような気がするんですけども、いかがでしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 御意見いただきましたことも理解いたします。実際に、しかしながら、募集要項でどこまで明記するかっていうところもございます。逆に誤解を与えかねない表現になってもいけないなと思いますので、その辺りはまず募集要項なり、町の職員ということですので、ある程度の規則に基づいて業務に当たるというのも念頭に御理解いただいた上での応募につながると思いますので、その辺りは問合せの中で臨機応変にお答えしていきたいというふうに考えております。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 ぜひ柔軟な対応をお願いします。

それと、別の質問もいいですか。

○久代委員長 はい、よろしいですよ。この一般管理事務の中でなら。

○岡本委員 一般管理事務の中で。

○久代委員長 よろしいです。

○岡本委員 4ページの一般管理事務の中でですけれども、前回の予算審査のときに、職員の方の職級ごとの表に男女比を加えてはどうでしょうかという、職務の級ごとの人数が書いてある、今回だと予算書のタブレットで72ページに表が、毎回こういう表が出てますけれども、これに男女比、男女比とか男女の人数でもいいんですけども、を加えたらどうですかということをお願いして、確認するということがあったんですけども、結局、加わってないということは、予算書にはそういうものは書けないというそういう理解でいいんですかね。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 現時点においては、予算書におつけしている表につきましても参考資料という形でさせていただいておりますが、あえてまたこの社会情勢の中で改めて加えるというのは現実的ではないかなと思っております。当然ながら、手前では把握はしておりますが、そういったのはこういった資料等には残すべきではないのかなと整理してございま

す。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 ただ、資料等に残すべき、ちょっとその辺がよく分からないですけれども、例えば国家公務員なんかでも年次報告に、各役職段階に占める女性の割合を2025年度末までに本省係長相当職30%とか、本省課室長相当職を10%とあって、別にこの目標、そういう数字を上げてきてるわけですよ。地方公務員の報告を見てもそういうこと、何%になりましたとあってというような報告があったりもして、別にそこに数字を上げること自身はそんなに、何ていうのかな、奇異なことではないですし。実際にこれ、上げてみると、日南町は意外と女性職員、管理職いるなっていうような感じにもなるかもしれないなと思うんですよ。少なくとも議員に比べたら絶対女性多いわけですから、議員はゼロ%なんで。そういうところがちゃんと分かるように、資料提出で結構なんで、分かるように出していたくわけにはいきませんか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 委員おっしゃいますことも理解させていただきますけども、昨今報道でも同性婚であったり、LGBTQでありましたり、そういった多様な社会情勢という中で、改めて、これまで前例を踏襲して資料等は現状のままに整理させていただいてきておりますが、そういった面ではその取扱いで今後も整理させていただきたいとは考えております。その上で、男女共同参画という視点においては、そういった場面でも女性の活躍の場であるとかそういう発言でしたりすることもございますけども、こういうケースにおきましては、今の現状のところ資料につきましては整理をさせていただければというふうに考えてございます。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 よく意味が分からない。予算書はいいですよ、予算書はこれで別に変えてくださいとは言わないんで、別途資料提供はいただけませんかという話なんです。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 資料提出につきましては、改めてですが内部で確認させていただいてからにさせていただいて、お答えとさせていただきたいと思います。

○久代委員長 資料提供は内部で検討してから出すということですので、了解をお願いします。

それと、総務課長、ふるさと納税の地域おこし協力隊の問合せは、今日現在、新年度4

月からスタートするわけですが、職員が決まっていないということなんですけども、問合せの件数は何件ぐらいあるか、ちょっと今の状況を説明してください。

川上室長。

○川上室長 ふるさと納税の地域おこし協力隊の募集に係る問合せでございますが、町のホームページ、それから、地域おこし協力隊のホームページ上位に、こちらのほうにこちらのほうを掲載しておりますが、残念ながら、確認をしたところ今のところ問合せはございません。

○久代委員長 問合せもないということなんですよ。分かりました。

岩崎委員。

○岩崎委員 1つ聞くのを忘れました。年末調整システムの導入とあるんですけども、正直、もう年末調整のシステムなんかはとうの昔に入っとる、一般的に考えたら当たり前の話なんですけども、まず、これまで町には年末調整のシステムなかったんですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 これまではございませんでした。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 重ねての質問で申し訳ありませんが、会計年度任用職員の募集についてであります。地域おこし協力隊っていうのは非常にいい制度で、町外からの移住定住の促進、さらには財源が国費で見てもらえるということで非常にいいんですけども、先ほどの応募もない、問合せすらないというような状況もあるわけですが、最終的に町の業務が円滑にできるというところが一番なんです。ですので、地域おこし協力隊に限らず、やっぱり職員の確保っていうのを優先すべきだと思います。昨日も言いましたけども、例えば日吉津村とか鳥取県とかハローワークもどんどん使っとるんですよ。その成果はどうか分かりませんが、いろんなチャンネルを使って人材の確保っていうのを、住民サービス、行政事務が円滑に進むような職員の採用の取組を今後進めていただきたいと思います。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 そのように努めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、次、6ページ、職員健康福利厚生事業について。

大西委員。

○大西委員 今年度、前年度から比べて物すごく簡略化し過ぎたなという感じがしました。昨年度、管理職向けマネジメント研修、パワハラセグメント研修という回数まで書かれたんですが、今回それが、特にパワハラの研修が抜けておりますが、もうこれは終わったという判断でいいんですか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。管理職研修等のパワハラ研修という内容でしたけれども、こちらのほうではパワハラに限らずハラスメント研修というような位置づけであったり、その年々でテーマを決めてやっております。今年度につきましては、確かに管理職の面談、スキルアップ研修とハラスメント研修ということで行いましたけれども、来年度につきましては、安全衛生委員会のほうでまた研修テーマを決めていきたいと考えております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 いや、来年度のこれ予算ですよ。テーマを決めてじゃなしに、これ来年度の予算ですから来年度こうするんだと枠を取るだけの予算ですよ、これは。逆に言いますと、昨年の回数とえらい新年度は減っておるんですよ、そこを確認しとるんですよ。だから、もし衛生委員会で増えればまた増加するのか。要するに、先ほどの一般管理事務のところで言いましたけども、重ねてしまったり名前を変えてしまったり、我々はやはり前年度はどうだった、今年はどう持つていく、来年度はどう持つていくんだっていうこと見たいわけですよ。合計金額見ても相当減ってる場合もあれば増えてる場合もありますんで、それを委員がチェックするわけですよ、チェックしにくいようにしてもらったら困るんですよ。どう思われます、私もこれで今計算したら、2時間掛ける2回掛ける2種類で終わるところが、昨年度は2時間の2回とか、2時間の5回とか、ここまで書いていただいて今年度は物すごい抜けてるんですよ、金額も減っておるんですよ、それを言っとるんですが、やはりこれはきちっとこういう理由でこうまとめたとか言ってもらわないと、年度の資料なかったらこれ全く読めません。それはどうなんでしょう、今後のためにもちょっとその辺を説明していただきたいんですが、なぜ全て入れてしまったのかということ。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 おっしゃるとおり、研修の回数につきましては、今年度に比べて、回数として管理職及び一般職向け研修につきましては3回程度減っております。昨今、職員の個々のメンタルヘルスであるとかその辺りで不調を来すところもございますので、個々に対する相談であるとかキャリア支援というものを充実させる中で、ちょっとそちらに重きを置

いたというか、全体研修での対応ではなく、個々の対応をより充実させたものにしたいということで、若干全体研修の回数としては減っているというような現状でございます。

○久代委員長 大西保委員。

○大西委員 あと、一番上段の職員の健康づくり研修ですが、これ2回の2回転ですが20万、昨年度は3研修の2回転ですから1研修減ったわけですね、30万から20万に減ってるんですが、それはなぜですか。実際に2回しかできなかつたから新年度も2回にしたのですか、それはどうなんですか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。職員の健康づくり研修につきましては、今年度、3研修各2回ということで予定しておりましたが、今年度も引き続きちょっとコロナの蔓延のほうはまだ落ち着いてなかったということもありまして、今年度ちょっと実施のほうできておりません。その辺りで、来年度に向きましては若干コロナのほうも終息するであつたり、5月には第5類に移行するというような方針にもなっておりますので、徐々にちょっと回数をまた戻していくという部分で、いきなり今までの回数に戻すではなくて、回数としてはちょっと減らした形での開催ということで予定をしております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 次の項目で、健康診査、特定健診なんですけど、180名で9万円ですから、これ1人5,000円ですね、どうなんですか、単価は。

○久代委員長 1人当たりの健診費用ですね。すぐ答えられますか。予算要求されたときの資料はあると思いますけど。すぐ資料が出ないようでしたら……。

総務課長。

○實延総務課長 すみません、お時間要しまして申し訳ございませんでした。1人当たり5000円という数字でございます。申し訳ございません。

○久代委員長 よろしいですか。

大西委員。

○大西委員 いや、そうです、単純ですね、9万円を108で割ればいいだけの話なんです。そんな時間要しません。聞きたいのは、昨年度は単価は幾らだったんですか。

○久代委員長 大西委員、昨年度の単価については資料で出して……。

大西委員。

○大西委員 昨年度の単価を言いましょうか。私が言いますよ。

○久代委員長 もし分かれば発言してください。

○大西委員 600円です、昨年度。なぜ100円下がったんですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 お時間ばかりいただいて申し訳ございません。本研修の中ではライフプランに関するもの、それからメンタルヘルスに関するもの、特定健康診査に関するもの、合わせて令和5年度は500円単価を予定してございますが、そのうち特定健康診査に係る実施負担金が、現在の見込みでは単価100円下がったということで整理してございます。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 今いろいろ足し算されて言われたんでちょっと分からないんですけども、要するに言いたかったのは、要するに100円下がった理由を確認したかったわけですよ。先ほどもなぜ計算されたらすぐできることなので、やはり健康診査というのは、町長も言われるように、がん検診であるとかこういう健診を皆さん受けてくださいよと言われてる重要なところなんで、特に衛生委員会ではその辺をチェックされてると思います。以前は全員が、100%の方が本当、受けていただいたと思うんです。やはり健診することはいろいろ将来的にもいいことなので、今後、やはり項目の削除とかそうじゃなしに、将来の行政がする場合でもやはり、細かくはいいですけどもある程度削除しないように、項目も、やはりそれでチェックしていきますんでね、その辺をお願いしたい。それから、言われたように、単価すぐ計算して出せるようにしてください。単純な計算ですけどもよろしくをお願いします。どうでしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 そのように努めてまいります。よろしくお願いたします。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、下段の文書管理事務について。

岩崎委員。

○岩崎委員 町の例規集のシステムですけれども、毎年定額がお支払いになられてるんですけども、機能的なアップっていうのはこのシステムはないんでしょうか。

もう一つ付け加えます。

○久代委員長 追加で、岩崎委員。

○岩崎委員 すみません。以前ちょっと質問したんですけど、例規集のシステムの中で例

規集全体を検索するような仕組み、例えばこのたび企画課が地域づくり推進課になるとい
うときに、企画課という言葉为例規集の中でどこに使ってるかというようなのが一発で検
索できるような仕組み、全文検索、そういう仕組みがないんだろうかなと思ひまして。一
般的に今のインターネットでの情報を提供する場合にはそういう機能があって当たり前だ
と思うんですけども、そのような機能を以前聞きましたら既に入ってますよということだ
したけども、どうも見るに入っていないんですよ。その辺はやっぱり機能アップをやるべき
ことだし、逆にそういうのを入れてくださいというような要望をすべきじゃないかなと思
うんですけども、どうでしょうか。

○久代委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 ホームページでお出ししております例規集、それから職員が使っており
ます、いわゆるじょうれいくんというようなシステム、恐らく検索が使えると言ったのは
後者の職員向けというふうに承知しております。その上で、委員おっしゃいます例規集に
つきまして、その辺りは検討、至急確認も含めてさせていただきたいと思ひます。本予算
で上げさせていただいておりますのはその他の、今おっしゃいました改修等も含めた内容
は含めてございませんけども、そういった機能充実にも努めてまいりたいと思ひます。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 新たにもう一つ、官庁速報のデジタル版の使用料ということで入っておりま
す。これまでは紙で来てたと思うんですが、これは誰が使われますか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 現在の予定では、9ライセンスの予定でございます。総務課、企画課、
あるいは三役であるとか、情報発信であるとかいうことで今は念頭に置いております。た
だ、そういった情報収集の中で皆さんとの共有という点がキーになろうかと思ひます。そ
の辺りはできるだけ、スピーディーな情報収集ができますので、活用してまいりたいと考
えております。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 この辺りも、要は、恐らくですけども、想像するには、この仕組みの中には
過去の情報とかいうのが全文検索できるんだよというような機能があって、あっ、こうい
う言葉があったよなっていうのが見れると、それが要はこのメリットだと思ひます。それ
と同じことで例規集のシステムもまさにそのことなんですよ。そういうような過去の情
報が見れるということで、いわゆるそれがコンテンツの有料化ということだと思ひますし、

ちなみに、現在、紙で来ているものは廃止されるのか、どうでしょうか。

○久代委員長 川上室長。

○川上室長 現時点で紙で来ております官庁速報につきましては、廃止という方向で考えております。よろしくお願いします。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、次の6ページ上段、財政管理事務。

坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 この項目ではないのかもしれませんが、財政計画っていうのはどういう状況に策定はされてますか、今の状況。

○久代委員長 川上室長。

○川上室長 ありがとうございます。財政計画についてでございますが、令和5年度の予算には計上しておりません。しかしながら、担当レベル、財務室が主導となり令和5年度中に作成を目指して今、進めておるところでございます。地方交付税、あるいは起債ですとか起債残高、それから基金の情報につきましては、これまでも一部ではございますけどもいろいろな場面で情報提供させていただきますが、これらを網羅した中で財政計画、具体的には令和6年度の予算編成までを1つの目標として計画をつくっていくという予定にしております。よろしくお願いします。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 行革の計画より少しずれとるかもしれませんが、策定に向けて努めていただきたいと思います。その中で、やっぱり公共施設と総合管理計画の財政規模が大きく影響もしてくると。ちょっと場所が違うんですけど、公共施設等管理計画の長寿命化改修あたりが、本来、原則的に築後40年であるというところが少し前倒しに来とるものもあつたりするんです。そのために、例えば令和7年には9億円の経費をかけると、その前の令和6年には9,000万円です。年度によってすごく幅がある。そういったところ、施設計画も見直しを含めながら、将来にわたって安定的な財政運営ができるような財政計画をぜひつくっていただきたいと思います。ですんで、公共施設等もちょっと見直しも必要だと思いますし、過疎計画も含めて。

○久代委員長 川上室長。

○川上室長 ありがとうございます。おっしゃいますとおり、現状の個別施設計画では、まさに令和7年度に一番経費がかさむときであります。この年は新たな国勢調査も入る年

になってきてますので、交付税あたりもぐっと減ることが予測されています。そういった中で、個別施設計画を立てさせていただいたときには、実際に耐用年数から電算的にはじかれる、こういった経費も含まれたもので個別施設計画を立てておりました。

今年の予算編成に当たり、11月、12月の年末には政策体系ヒアリングという査定の過程を一つ設けまして、こういったところをぜひ平準化していく必要があるということで、各課においては要求もありましたけれども、こういったところをクリーニングしながら年度ごとの平準化を図っていくというところで進めてきた経過があります。御指摘のとおり、そのように努めていきまして、現時点できれいなクリーニングとなっておりますけれども、そういったところに主眼を置きながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

○久代委員長 よろしいですか。

それでは、下段の町有財産整備管理事務について。

近藤委員。

○近藤委員 需用費のほうの光熱水費ですが、このたびは20万ほどのアップになっております。次ページの庁舎管理事務のほうでは、大変、約倍増に近い金額が示されている中で、今、この燃料費の高騰の中でこの20万アップというのが、昨年と比べてですね、妥当かどうかということ。要するに、今年度実績に対してこの程度でよかったという積算なのか、そんなに高騰しない、どういう根拠を持ってこの20万アップにとどめられたのかお伺いします。

○久代委員長 坪倉参事。

○坪倉参事 失礼します。光熱水費の予算要求ですけれども、令和4年度の実績、近いところの月の実績を見ながら積み上げたものでございます。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、次の7ページ上段、庁舎管理事務について。

大西委員。

○大西委員 先ほど同僚委員言われた光熱費について私も注目しとりまして、ここの金額は178%、要するに78%アップになつとるわけですよ。電気代が、たしか今、新聞では25パーから40パーぐらい上がるかも分からないということですが、この78%のアップの一番大きな要因の、電気代なのか何だか分かりませんが、何でしょうか。まず、1、2、3ぐらいはお答えいただきたいんですが。幾らかかっているのか、予算ですね。

○久代委員長 庁舎管理事務の光熱水費。

岸防災監。

○岸防災監 失礼します。光熱水費の増額のやはり一番の要因は、電気代の増加になっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 幾らから幾らに上げたのか、2番目に、電気代以外、それぐらいちょっと教えてください。電気代がどの程度、要するに積算される根拠を、ちょっと、大きな要素のやつだけでも教えていただきたいと思うんです。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 根拠といたしましては、12月の時点で中国電力のほうで、大体に基本料金であるとか、そういったようなものがこのぐらいになりますということで試算のほうを示していただいております。それと、実際の4年度の実績のほうを積み上げた形のもの进行比较しますと、中国電力さんの試算の金額のとおりと大体同じぐらいになるということで、そのような形で予算要求のほうをさせていただいております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 いや、ですから、それが、800万が120万になりますとか、そういうことを知りたいわけ、具体的に。できたら、光熱の中で多い1、2、3ぐらいは、それぐらい、あくまでも予算ですんで、それをお伺いしないと、ああ、そうですかで終わっては予算審査になりませんので。よろしくお願いします。

○久代委員長 岸防災監、何%水道光熱費が全体として上がってるかという、パーセントが、資料があれば示してください。

岸防災監。

○岸防災監 昨年度といいますか、今年度の当初予算のベースでいきますと、電気代が720万となっております。それに対して、来年度の電気料金の予算額としましては1,332万7,000円ということで、2倍までは増えてはおりませんが、ちょっと2倍近いアップとなっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 いや、そんなに上がるんですか。上がるんだと逆に使用量も増えないと、想定、あくまで予算なんですけども、本当に倍近い金額になりますね。今、驚きです、逆に言いますと。それ以上言ってもいけません。今、1,400万のうち半分が電気代なん

ですね。2番目は何でしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 2番目といたしましては、下水道料金のほうが41万6,000円となっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 驚きですが、1,300万が電気代で、その2番目が下水道費41万円ですか。もうあとは僅かの項目がいっぱいあるわけですか。要するに100万ぐらいのものは無いんですか。いや、どうなんですか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 光熱水費の中ですと、電気料金、水道料金、下水道料金のこの3種類になっておりますので、そのほとんどが電気料金というふうになっております。

○大西委員 はい、分かりました。

○久代委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 すみません、庁舎開口部防水板の設置工事についてですが、これ、どこにどういったものを、どれぐらいの長さで設置を予定されているのかお伺いします。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。庁舎の開口部ということで、基本的には出入口になります。正面入り口であるとか、裏の職員出入口であるとか、全体で7か所出入口がございます。そちらの出入口の部分に、幅としては、ですので2メートルぐらいの幅で、高さが1メートル強ぐらいのアルミ板をガイドレールに沿って設置するというような内容となっております。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 これは自動的に、人が操作をして手動で閉めるものなのか、それとも、ある程度感知をしながら遠隔操作ができるとか、どういったものを想定されておられるわけですか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 こちらのほうは自動ではございません。あくまで手動で、台風であるとか、ちょっとそういう大雨注意報、警報、そういったような大雨が予想されたときに、職員のほうがそれぞれアルミ板のほうを各所に設置するというような内容となっております。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 同じところでありませぬども、7か所っていうのは、これ文化センターも含まれてるでしょうか。庁舎だけで7か所ありますか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。庁舎だけで7か所となっております。出入口が4か所と、あと、自家発電機が入る部屋にも入り口がありますのと、あと、備蓄倉庫のところにも出入口があるということで、それらの出入口を含めると7か所というふうになっております。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 この防水壁の性能、能力あたりについて、当然パンフレットなどもあると思いますが、資料の提供をお願いをしたいと思ひます。

それと、装飾灯って、ちょっと失礼ながらどこのことでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 庁舎の正面玄関の前の広い駐車場の横に、県道沿いに立っております。一般的に広告灯と言われるかもしれないんですけども、財産台帳的には装飾灯というふうになっておりまして、そちらのことになります。

○久代委員長 よろしいですか。

岡本健三委員。

○岡本委員 まず、先ほどの電気代の件ですけれども、これは、現在どの電気会社を使われていて、電力会社っていうんですかね、を替えるかどうかというような、そういうような検討はされたのかどうかということをお聞きします。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 電気料金につきましては、現在、中国電力さんと契約のほうをさせていただいておりまして、電気料金の別会社への契約変更については、現状としては検討はしておりませぬ。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 例へば、地元のところではローカルエナジーさんですか。ここがすごくいいとは言ひませぬけれども、ただ、再生可能エネルギーを少しでも取り入れようとされてるというようなところもあつたりして検討の余地はあるのかなと思ひんですが、いかがでしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 電気料金につきましては、よく個人宅ではいろいろとサービスも相まっ

て替えられる方もいらっしゃるし、委員おっしゃいましたような選択肢もあろうかと思えます。予算編成の中でも検討した経過はございますが、現在のところは中国電力さんとの契約を継続するというので、当面考えてございます。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 それはやっぱり中国電力さんが一番安いという、そういうことですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 個別、一つ一つの契約事項を比較してというところまでは詳細の精査はできておりませんが、総じて安定した供給という点も含めて中国電力さんをお願いをするということで御理解賜ればと思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 ちょっとそれ、安定した供給ってちょっとよく分かんないんですけども、別に、これ、ローカルエナジーさん、例えばほかの会社に頼んだからって言って、何かあったときにそこから電気が遮断されるとか、そういうことではないですよ。そのときにはちゃんとバックアップで多分中国電力さんなりから、そもそも送電線は中国電力さんが使ってるわけですし。安定した供給という意味では、どの会社も変わらないんじゃないんですか。（「違う、違う」と呼ぶ者あり）

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 一部、誤解ある表現だったかもしれませんが、電気の供給以外にも様々な公共サービス等も、受けるだけではなくて、実際には実施をしたりすることもございますし、そういった全体的なバランスというのも鑑みて、現在は中国電力さんとの契約に基づいて供給いただいているということで御理解いただきたいと思います。委員がおっしゃる趣旨につきましては理解をいたしておりますので、その辺りは継続してまた検討はしてまいります。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 参考までにお聞きしますと、そうすると、中国電力さんが電気以外のサービスっていうと、どういったものがあるんですか。

○久代委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 現在、電気を取り巻く情勢としましては、ウクライナ侵攻等によりまして、生産の部分から火力、原子力、水力等々の中で、取り巻く環境というのは非常に厳しい状況を踏まえ、先ほど来御指摘いただいております電気料についても高騰してきており

ます。それは町民さんの生活に非常に重たくのしかかってきております。そういった情勢の中で、単純な、我々も消費者であります、現在いろいろと島根原発の2号機あたりの再稼働等も議論されておりますけども、そういったところでは、現在稼働してないところから見ますと、中国電力さんも消費者でございます。そういった電力事情を取り巻く環境というのを総じて、すみません、抽象的な話でございましたが、そういった形で申し上げた次第でございます。

いずれにしても、そういった供給いただける体制っていうのは、中国電力さん以外にも先ほどおっしゃいましたローカルエナジーさんであるとか種々ございますけども、そういった中では、きちっと公共サービスを提供する面においては、現在継続した形での契約をとということで整理している状況でございます。以上です。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 総合的な判断というのはあるんでしょうけれども、ただ、結局、ウクライナとかが問題になってるのは、輸入のエネルギーを使っているからということが問題になるわけであって、だから、再生可能エネルギーをどんどんこの機会に広めれば、広めるというのが一番近道だと思うんですね。そういう意味で、再生可能エネルギーを、私はちょっと、中国電力さんが再生可能エネルギーをどんどん進めてる立場だとはどうしても思えないので、まだローカルエナジーさんなどのほうがましなんじゃないかというふうに思うんです。その辺はどうでしょうか。そういった意味で本当に、何ですかね、全体的なエネルギーの事情を鑑みてもちょっと検討していただきたいと思うんですけど、どうでしょうか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 予算の内容とは、ちょっと膨らんできたようにも思いますけども、そういった面においても、先ほども申し上げました。電気料の高騰というのは、町民の皆さんの暮らしに非常に重荷になってきてございます。当然、庁舎、公共施設全般的にも予算編成において、例えば太陽光発電をまた設置できることはないかというような視点も含めて、委員おっしゃいました視点も含めて検討してきた経過もございます。そういった面では、また全体的なところでも引き続き検討してまいりたいと考えております。以上です。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 分かりました。その点については、もっとその検討を、引き続き検討をしてもらえるように求めます。

それと、別のことなんですけれども、庁舎の管理というか運用の仕方について、今の状

態が悪いというわけじゃないんですけれども、もう少しなじみやすい、人が寄りやすい雰囲気をつくるというために音楽を流すとか、あるいは、ホールのスペースをコーヒーとかが飲めるようなカフェのような使い方をすることもできるんじゃないかというような声が住民の若い方から上がってます。私もそういう使い方も、それはもちろん最終的に使う方の使い勝手が大切なんですけれども、そういうのもありかなと私も思いますので、ちょっとそれどうでしょうか。その点に対してはどういったふうに考えられるか。お願いします。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 個人的には音楽もたまにはあっていいかなという私見も持っております。しかしながら、皆さんの庁舎であり、やはり公務を執行する拠点でございます。様々な御意見も頂戴をしておるのも承知しておりますけれども、より皆さんに、そういった、やはり入りにくいとか、また、職員の挨拶等々も御意見頂戴しておりますが、そういったことも相まっただの現状であろうかと思えます。1つずつ、やはり御意見頂戴している以上、検討は必要かと思えますけれども、御意見承りました。内部でもまた検討してまいりたいと思えます。

○久代委員長 ここで暫時休憩をしたいと思います。審査の途中なんですけれども、時間がかなり経過してしまっていて、いろいろ、皆さん活発な議論をいただいておりますので。再開は10時50分といたします。よろしく願いいたします。

〔休 憩〕

○久代委員長 休憩前に続いて、審査を再開いたします。

7 ページ下段の庁用自動車管理事務について、意見。

大西委員。

○大西委員 去年は車検切れの問題が発生しました。金額は、いろんな項目についてはほとんど変わってないところがあるんですが、1点、車検印紙代・代行料が、予算額が前年より上がっておりますが、これはどういうことでしょうか。台数が変わったのか、どのよ
うに上がったんでしょうか。

○久代委員長 車検の印紙代。防災監ですか、答弁は。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。役務費の増額理由ですけれども、車検の代行手数料のほう
が若干値上がりしてるような要求となっております。

○久代委員長 大西委員。

○岡本委員 役務料のそこなんですよ。8万7,000円上がったんですが、確かに車検は2年に1回のものがあるが、新車では3年ですが、台数も1台、公用車減ってますね、昨年から。大きな上がる要因の中に何が上がるんですか、どの分。新たに1台とか2台車検料が上がったんですか。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 お時間いただいており申し訳ございません。印紙代等につきましては下がっております。しかしながら、代行手数料につきましては、車両台数は見込みでは13台から10台に減っているんですが、昨今の情勢でしょうか、見積りを参考にして18万2,000円から29万円へと増額となっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 分かりました。昨年の車検切れということで、総務課以外に企画課、福祉保健課が持っておられますが、そのときの反省で、やはり総務課の車両関係は庁舎のやつを総括しようということでしたが、その辺の運用管理とかはちゃんとできておるのでしょうか。

○久代委員長 實延総務課長。

○實延総務課長 当時の反省を踏まえて、現時点におきましては管理をできているというふうに認識をしております。引き続き厳正に管理等にも努めてまいりたいと思います。

○久代委員長 よろしいですか。

○岡本委員 はい。

○久代委員長 ほかにないですかね。（「なし」と呼ぶ者あり）

続いて、8ページの交通安全対策事業について。

坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 交通安全指導員の制度について、基本的に少し見直すべきだと感じております。4年度の交通安全指導員の活動実績と、それから、規則に定めることになっている勤務要領について、資料の提出を求めます。

○久代委員長 今、勤務要領について。

坪倉参事。

○坪倉参事 交通安全指導員の規則が定めてありますので、後ほど提供……。

○坪倉委員 規則じゃない、規則の中の勤務要領。

○坪倉参事 勤務要領で、はい。後ほど提出したいと思います。

○久代委員長 後刻資料提供するということですので、よろしくお願ひします。

ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

次、下段の自衛官募集事務について。

大西委員。

○大西委員 昨年の予算のときに、入隊は何名か聞いて2名出しとったんですが、今年度の予算のところで分かりよれば、来年度の入隊者は何名でしょうか。

○久代委員長 坪倉参事。

○坪倉参事 令和5年度に新しく入隊される方、1名と聞いております。

○大西委員 はい、分かりました。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

9ページ上段、選挙管理委員会一般事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）

下段の町議会議員選挙執行事務について。

近藤仁志委員。

○近藤委員 ポスター掲示板ですか、これ、前年度にもポスター掲示板というのが記載されているわけなんです、これはどういう関係で掲示板が4年度、5年度に載つとるかというのを伺ひします。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 御承知のとおり、執行事務に当たりましては、先ほど申し上げましたように4月の告示、投開票を迎えるわけでございますが、準備につきましては年度をまたいでの準備が必要となってまいります。部材の事前準備等で、いわゆる案分をさせていただく形で3年度、それから4年度、それぞれ経費を上げ……（「4、5」と呼ぶ者あり）ええ。令和4年度、5年度と上げさせていただいた経過でございます。

○久代委員長 よろしいですか。

それでは、続いて10ページ、県知事及び県議会議員選挙費について。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

続いては、執行部からの説明をまずしていただきます。人権擁護事業からのページです。お願ひします。

総務課長。

○實延総務課長 そういたしますと、10ページ下段、人権擁護事業の説明から入らせていただきます。予算額18万5,000円、比較10万円の減額でございます。例年どお

りの事業を予定しておりますが、昨年度は輪番事業の人権の花運動に係る需用費を計上してございました費用が皆減となっております。

続きまして、11ページ、人権施策推進事業でございます。予算額1,274万4,000円、比較36万4,000円の減額でございます。主な増減の理由でございますが、全国集会等旅費が28万6,000円の減、人権意識調査を予定していますが、役務費が68万4,000円の増額、地区運営費が令和4年度で終了し、それらを含めた負担金補助及び交付金が44万9,000円の減となっております。その他の執行経費につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、12ページ、人権センター管理運営事業でございます。予算額650万7,000円、比較29万7,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、電気料など需用費の増であります。引き続き管理運営経費、人件費を計上してございます。詳細の執行経費、財源につきましては、記載のとおりでございます。

続いて、下段、非常備消防管理運営事務でございます。予算額1,840万4,000円、比較179万7,000円の増額でございます。主な増額要因であります。消防団員の新基準活動服を新規に予定しております。現在は国庫支出金3分の1の補助率で残りの一般財源の8割が特別交付税となっておりますけれども、この制度がいつまでであるのか不明な状況でありましたので、計画を前倒して3年間で全分団更新できるようにしたいと計画しております。また、新規事業としまして、消防団員の運転免許取得経費を助成し、緊急出動における消防車両の安定運用を図りたいと計画してございます。25万円の皆増でございます。その他の執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、13ページ、消防施設整備管理事業でございます。予算額1億3,946万1,000円、比較317万5,000円の増額でございます。主な増減理由ですが、大宮分団消防機庫新築工事に係る委託費、工事請負費、それから、消防可搬ポンプ購入費が皆減しております。それから、福栄分団配置予定の消防ポンプ自動車購入費、消防団防火衣、発電機購入経費が新規事業、皆増でございます。西部広域負担金につきましては、106万4,000円の減額となっております。その他執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続いて14ページ、防災対策事業でございます。予算額1,776万3,000円、比較357万6,000円の増でございます。表な増減内容でございますが、令和5年度から地域防災マネージャー制度を活用した職員の配置を計画しております。

詳細につきましては、154ページ、新規事業説明資料を御確認いただきたいと思いますと思いますが、防災体制につきましては、専門的知識のある元自衛官幹部を採用し、防災体制の充実強化を図るものでございます。

その他には防災無線戸別受信機保守委託料の増額、負担金補助及び交付金のうち、自主防災組織育成事業補助金として200万円の皆増、こちらは、多里まちづくり推進協議会への消防ホース、ノズルの整備を計画しているものでございます。また、例年、積立金で計上しておりました被災者住宅再建支援金積立てにつきましては、その性質上から、負担金補助及び交付金へ変更して計上してございます。その他、職員のドローン操作教習費1名分、防災士養成事業補助金7名分など、引き続き取り組んでいく内容としてございます。その他執行経費、財源については記載のとおりでございます。

続きまして、15ページ上段、単独災害緊急対策事業につきましては、例年どおりの枠取り予算として40万円計上してございます。

下段の公債費償還事務（元金）でございますが、予算額7億5,650万7,000円、比較949万6,000円の増でございます。増額内容ですが、福栄地域振興センター整備事業、清掃センター大規模改修事業などを含みます過疎対策事業債の元金償還金が開始する影響でございます。

続きまして、16ページ、公債費償還事務（利子）でございます。予算額1,400万4,000円、比較208万2,000円の増額でございます。増額の理由でございますが、近年の借入金利率の上昇を見込んだ増額となっております。

以上が一般会計総務課所管分でございますが、続きまして、145ページ、特別会計の説明に移らせていただきたいと思います。お聞き願います。鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会管理運営事業でございます。予算額51万8,000円、比較、新規による皆増でございます。それぞれの執行経費につきましては、前担当の伯耆町の予算を参考に計上してございます。内容につきましては、審査会の運営に係る経費でございます。

以上、一般会計、特別会計の説明とさせていただきます。どうぞよろしく願います。

○久代委員長 ただいま説明をいただきました。

10ページの下段、人権擁護事業から意見を求めますが、どうでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

11ページ、人権施策推進事業について。

大西保委員。

○大西委員 先日の男女共同参画事業の、これは費用が総務課になっておりますが、これは教育課へ移行されるのか、総務でこの予算を執行されるのかお聞きしたいんですが。

○久代委員長 総務課長。

○實延総務課長 委員御指摘いただきました内容につきましては、また別途、規則等もお示しさせていただきたいと思いますが、委員おっしゃいますように、教育委員会で事務をすることと予定してございます。款、項につきましては変更ございませんが、年度当初ではこれでいかせていただきたいと思いますが、しかるべきタイミングでまた補正予算等協議させていただければというふうに現在精査中でございます。

○久代委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 男女共同参画についてですけれども、令和5年度、男女共同参画推進計画の更新の時期だと思うんですよ、令和5年度までだと思うので。ただ、共同参画推進委員の報酬が昨年度と同じなんですけれども、推進計画を策定というか更新する分は大丈夫なんでしょうか、この予算で。

○久代委員長 弓場館長。

○弓場人権センター館長 御指摘のとおりで、推進計画が来年度に更新をしなければなりません。基本的にはたたき台をつくりながら、委員の方の意見を頂戴をして修正を重ねてということになるかと思えます。個別の事業のほうでも、また別個案件についても出席いただくこともあると思えますけども、兼ねてそういった会を必要回数開いていこうと思えます。その中で、この数字で、金額でおおむね賄えるのではないかと思います計上しております。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 一応、確認ですが、何人の方の何回分になるんでしょうか。何人の委員の方の、何回分の委員会の分になるんでしょうか。

○久代委員長 弓場館長。

○弓場人権センター館長 延べ32人で、1回が3,500円という報酬になります。現在、委員の見直しをかけるような時期ではございますが、現在は7人の委員の方でやっていたという状態でございます。これも、ただ、なかなか委員の成り手がないということで、手を挙げてくださる方、お願いできる方について、検討といいますか、探しているところというのが実情でございます。

○久代委員長 よろしいですか。

ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

続いて、12ページ上段、人権センター管理運営事業について。ありませんか。

私のほうからちょっと一つお聞きしたいんですけども、人権センターの関係で。教育委員会に所管が移るということなんですけれども、一般会計で扱っている住宅新築の資金がありますよね。その、今の現在の町の起債は終わっていて、利用された方の滞納は現在残っていると思いますが、その会計の処理は教育委員会には移管せずに、一般会計で総務課の中で取り扱われるという理解でよろしいでしょうか。

實延総務課長。

○實延総務課長 所管につきましては、同対事業の中のくくりでは教育委員会というふうな想定もしてございますが、会計としましては、同じく一般会計の中で管理してまいりたいと考えております。

○久代委員長 弓場館長。

○弓場人権センター館長 若干補足でございます。ちょっとこの辺りが、組織改革に当たってちょっと私もあまり関わっていないもので、この詳細について明確に決まっていなくても、過去の特別会計で行っておりましたのは、国への償還金のほうは町としては返し終わっておりますので、特別会計を廃止して一般会計の中ということやっております。ですので、特別会計の所管を動かすというより、一般会計の中で所管課を総務課にするのか、あるいは教育委員会にするのかということの検討が必要だということかと思っております。

○久代委員長 ちなみに、現在の滞納の額についてちょっと示していただきたいと思えます。

弓場館長。

○弓場人権センター館長 現在が約1,153万円です。

○久代委員長 はい、分かりました。

○弓場人権センター館長 人数としては4名の方、その後、相続等で増えているかもしれませんが、当初の人数でいえば4名ということになります。

○久代委員長 ありがとうございました。

ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、下段の非常備消防管理運営事務について。

荒木委員。

○荒木委員 この新しい助成金がありますね、運転免許についての、25万ですか。補助率って大体どのくらい見てあるんですか。更新をするのに、例えば10万かかって2万5,000円になる、その辺が、ちょっと教えてください。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。補助率については10分の10、全額補助で考えております。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 後ろの、新しい新規事業のほうで5名ということで記載がしてありますが、この5名分の費用というふうに解釈してよろしいでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。おおむね対象となる方が5名ぐらいいるというところでして、5年度の予算要望といたしましては、それぞれの準中型免許取得について1名、あと、オートマ限定解除につきまして1名という要望となっております。

○久代委員長 よろしいですか。

岡本健三委員。

○岡本委員 新規事業のほうで、154ページの地域防災マネージャー制度のほうなんです。これは待遇というか、処遇としてはどういう形で雇われることになるんでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。今回は一般職員ということで、正職員ということでの採用になりますけれども、前歴換算等、これまでの経験、経歴を踏まえまして、おおむね室長級というところでの採用ということで予定しております。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 正職員なんですね。ごめんなさい、正職員ってということは、普通の場合には西部で統一の試験がありますけれども、この場合にはその辺の採用試験というのはどうなるんでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 任期付きの職員の採用につきましては、各町ごと、町単独での採用試験の実施ということで予定しております。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 正職員っていても任期付きの職員ということですね。任期付きの職員なの

で、町ごとに採用できる。分かりました。

それと、もう一つ、別件ですけれども……（「ページが違うで」と呼ぶ者あり）もうそれはいいです、終わったんで。

12ページのほうで、これ、自衛消防、消防ポンプの維持管理とかも入ってると思うんですけども、ちょっと全体像は分からないんですが、私の周りでは、大分もう、消防のポンプですね、消火栓のポンプが傷んできて、かなり更新をしなければいけないような状況に……（「ホース」「ポンプじゃない」と呼ぶ者あり）消火栓のホース、ごめんなさい、消火栓のホースです。すみません。消火栓のホースが大分傷んでくるような状況があるんですけども、そういったことに対して補助が幾らかあるのは知ってるんですが、もう少し、全体として積極的に交換するとかいうことは考えられてないでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。先ほど委員もおっしゃられたとおり、町のほうでは各自治会単位での補助制度ということで支援はしておりますけれども、なかなか十分な補助率であったり上限もありますので、支援に至ってないところもあろうかと思えます。場合によっては、国の制度といいますか、宝くじ助成金等、そういったようなものが各まち協単位であるとか、そういったようなところで活用できますので、実際、多里のまち協さんのほうでは、現在、来年度に向けてのコミュニティー助成事業の申請のほうを行っていただいております。大体には3月中、今月中ぐらいに内示というか、来るという予定と聞いておりますけれども、それが通りましたら、来年度、ちょっと予定はしてるんですけども、多里地域のほうでそういう消火栓のホースの更新をされるというふう聞いております。以上です。

○久代委員長 ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、13ページの消防施設整備管理事業について。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

続きまして、14ページ、防災対策事業。

古都勝人委員。

○古都委員 直接的かどうか分かりませんが、経過の中で質問させていただきます。12年前に東日本で原子力発電所が壊れたりして、30キロという話があって、当時私も一般質問したことがあるんですが、日南町も島根の第2原発からいうと30キロに入る部分もあるわけですし、その質問をしたときに、原子力災害の場合には、防災の場合には、

どっか四国のほうの町と提携がしてあると、移動させていただけるというお話を聞いたことがあります。昨年度の予算現額は155万ぐらいですか、減額されとります。そういった地域との交流は、今、続いておりますか、続いていませんか。お知らせをいただきます。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。防災の広域協定の関係ですと、徳島県のほうと鳥取県のほうが協定を結んでおります。その辺りでそれぞれの防災担当者であるとか、それぞれの首長さん同士の連携であったり、研修といいますか、交流のほうは現在も続いているところでございます。避難につきましては、やはり一番近い地域から避難ということで、鳥取県でいうと境港、米子の辺りが、まずは東部のほうだったり、広域に避難というふうになるかと思いますが、一応、そういうような形での広域の協定に基づいたそういう交流というのは現在も続いている状況にございます。

○久代委員長 古都委員。

○古都委員 ありがとうございます。そういった広域交流で防災に対応するというお話の中で、やはり155万という残額を出されるのであれば、万が一逆の場合もあるわけですね。徳島からこちらへおいでになる場合もあるわけですけども、用具、設備、そういったことについては検討された経過が近年ございますか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 あちらから来られる経費については、特段、すみません、検討のほうはしてございません。

○久代委員長 順番は。

近藤仁志委員。

○近藤委員 防災無線、行政無線の戸別受信機の保守であったり修繕の経費が見てあるわけですが、これは、やはり住民のほうから要望があつてここに予算計上されたということですか。

○久代委員長 防災無線の修理について。

岸防災監。

○岸防災監 失礼します。修理につきましては、おっしゃられるとおり、基本的には住民の方から防災無線がちょっと入りにくくなったというような形であったり、先日の補正のほうでもありましたとおり、ちょっと雪であったり、台風であったり、そういったような

のでアンテナが明らかに壊れたというような連絡を受けまして、修繕に伺うというような内容で対応しております。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 この行政無線が壊れたら、無線で広報するわけにはいきませんので、これはどういう形で広報をされておられるのか。自分も最近、無線の、何かな、あれが悪くなったという話を相談も受けたことがあるわけなんです、これをやはり何らかの形で、おかしくなったときの情報の提供というかな、対応の仕方を広報する必要があるわけなんだと思いますが、どういう形で広報されているのかお伺いします。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 現状の対応といたしましては、町のほうで公用車のほうに、車の上に、何ていうんですかね、スピーカーというか、ついておったり、先日も納車になりましたが、消防団の指揮広報車、そういったようなあたりにそういう広報できる設備がついておりますので、地域が限られてれば比較的そういうところですぐに対応もできるんですけども、全町的となるとなかなか機動的に素早くというのはちょっと難しいかもしれないですけども、現状としてはそういう、ちょっとアナログ的ではあるかもしれませんけれども、個別に公用車で、広報で回るというのが現状の対応かなと思っております。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 やはりこの日南町の特異性を考えたら、独居老人の方であったり、高齢者世帯であったり、そういった世帯のことも勘案して、もったきめ細かい防災無線の修繕についてされたほうがよいと思いますし、それを要望しますし、やはりそういった情報が特に必要なのは高齢者の方なのかもしれないわけなので、その辺の実態を踏まえて広報にもっと注力入れた取組をしていただきたいと思います。

それとは別ですけど、このたび専任の職員を募集されるということですが、この一般職の採用された方の勤務体系というのはどういう体系で役場のほうに勤められるのか、若干、給料たるものが少ないなと思ったもので、フルタイムでこちらに詰めていただけるのかどうなのかお伺いします。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。今回の新規の自衛官OBの方ですけども、基本的には正職員の一般職ということですので、フルタイムで週5日、8時15分から5時までといたしますか、当然、時間外等も発生したらそれですし、災害時等は昼夜問わずでやるとか、休み

の日もというところになりますので、基本的には一般職と同じような、もうフルタイムの勤務となっております。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 これは4月から即採用される予定ですか。若干給料が安いような気がするんですけど、これはこれでオーケーというのか、どういう形での、この職員給与という形で112万というの載っとするし、職員手当、共済費で86万というのがあるわけなんですけど、若干、何か、自分の感覚からしたら安いような気がするんですけど、これはこれで間違いないですか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。4月から採用できれば一番いいんですけども、このたびの対象となる方の定年に合わせて採用というふうになっております。その方の定年退職の日が11月初めということで、正式採用、あくまで採用試験に合格してという話にはなるかと思っておりますけども、12月1日から勤務というような予定で今のところは動いております。

○久代委員長 よろしいですか。

○近藤委員 いや、ちょっと待って。こっちが早いよ。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 ちょっとこれ、去年も聞きましたけれども、メール配信システムですね、これの利用者は、去年は伺ったとこだったら140人ということだったんですけども、増えてますでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。現時点での登録者数が151人となっております。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 先ほども防災無線の故障の話もあつたりしましたけれども、これを、やっぱりこういう仕組みがあるということが町民の皆さん分かってらっしゃらないと思うんです。いろんな部分でスマホとかを使うような施策が進んどるわけですけども、講習会とか、そういうようなところでこのこともぜひPRしていただいて、せっかくこうやって予算をつけて運用しとる、これの活用ということで考えていただきたいんですけど、どうでしょうか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 おっしゃられるとおり、先ほどの無線の関係でも、このメールのこともちょっとよぎったんですけれども、高齢化率の高い本町ですと、なかなかスマホでのメール受信っていうのが難しいのかなと思ってちょっとちゅうちょしたところではあったんですけども、委員のおっしゃられるとおり、もっとより広報のほうをいたしまして、利用者が増えるように努めてまいりたいと思います。どうもありがとうございます。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 いろいろとまち協のほうでもスマホ教室とかいうのをやっていますんで、ぜひそういう場を利用していただきたいと思います。

それと、1点だけ。防災無線、夕方は7時40分に放送されるんですけど、この配信が8時なんですよ。8時に配信されるんですよ、このデータがですね。やっぱり同じ時間に欲しいんですけど。何かあえてずらしてあるのか、防災無線を同時にでもいいと思うんですけども、そこら辺は改善できませんか。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼します。おっしゃられるとおり夜の8時にメール配信されるような、なっております。ちょっと詳細、設定で時間を変えられるのか確認したいと思いますが、変えられるようでしたらその辺り検討したいと思います。ありがとうございます。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 ちょっと先ほどに戻りますが、将来の防災監ということで、自衛官の幹部OBということですが、ここに書いてあるように、この文書でいくと5年間継続雇用ということで55歳前後の方かなと思うんですが、もしよろしければ、幹部OBということで、どの程度のランクの方か言えるのかどうか。ちょっと個人情報ですけど、言えないんだったらしょうがないんですけど、もしよかったらどのようなランクの方なのか教えていただきたいんですが。

○久代委員長 個人情報に抵触しない範囲でお答えください。

岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。やはり個人情報のこともありますので、階級等、その辺りはちょっと控えさせていただきたいんですけども、幹部は幹部ということと、あとは、海上自衛隊の方という情報です。

○大西委員 ありがとうございます。

○久代委員長 よろしいですか。

○大西委員 はい。

○久代委員長 古都勝人委員。

○古都委員 せっかく予算出していただいとるんですが、昨年の末から今年の初めにかけて、非常に大雪で木が倒れて停電が頻発したと。それも長時間だったという苦情も聞いた
りしておりますけれども、事前防災という観点で、道べりのそういった倒れそうな木を切
るというようなことについての議論はなされておりますでしょうか。お聞きいたします。

○久代委員長 岸防災監。

○岸防災監 失礼いたします。現在、鳥取県が主導してだったと思いますけれども、中国
電力であるとか関係機関と市町村も一緒になって、事前伐採について円滑に進むようにと
いうことで、今、検討のほう、話し合いが進んでおりますので、来年度も少しずつそういう
動きが具体的に出てこようかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○久代委員長 ほかに。

岡本委員。

○岡本委員 防災に関連して、南部町などは公式LINEをやったりするんですけれど
も、そういうのもあってもいいんじゃないかという若い方からの、これも声もあるんです
が、そういったところはどう考えてられるでしょうか。

○久代委員長 SNSの公式LINEについて。

實延総務課長。

○實延総務課長 防災を問わず、様々な情報というふうに理解をいたしました。企画課中
心に検討もしてきておりますが、改めてDXの中でも検討は引き続き行いたいと思ってお
ります。ちょっとすみません、詳細まで今現状の検討状況を把握しておりませんが、その
辺りは引き続きにしろかと思っております。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、15ページ上段、単独災害緊急対策事業について。（「なし」と呼ぶ者あ
り）

下段の公債費償還事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）

続いて、16ページ上段、公債費償還事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）よろし
いですか。

それでは、特別会計のページ、145ページになります。令和5年度鳥取県西部町村情
報公開・個人情報保護審査会特別会計当初予算について意見がありましたら。（「なし」

と呼ぶ者あり) よろしいですか。(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、ただいまをもって総務課の聞き取り全般について、聞き取り漏れがあったら発言を求めますが。(「なし」と呼ぶ者あり) よろしいですかね。(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、今日午前中予定しておりました総務課の聞き取りをこれをもって終了したいと思えます。

総務課の関係の皆さん、大変ありがとうございました。

すみません、確認ですけども、資料、改めて提出を求められた件については、事務局を通じて確認作業をしておきますので、よろしく願いいたします。

それでは、本日午前中の総務課の審査は以上をもって終了にいたします。再開は午後1時といたしますので、その間休憩といたしますので、よろしく願いいたします。

[休 憩]

○久代委員長 休憩前に引き続いて、午後の予算審査特別委員会を再開いたします。

午後は企画課の審査を行いますので、よろしく願いいたします。

島山企画課長。

○島山企画課長 失礼いたします。企画課長の島山でございます。説明に入ります前に、本日の説明員のほうを紹介させていただきます。

私のほかに、榎尾総括室長兼自治振興室長でございます。

金田企画振興室長でございます。

自立改革推進本部、伊田地方創生専門監でございます。

○伊田専門監 よろしく願いいたします。

○島山企画課長 よろしく願いいたします。

そうしますと、令和3年度決算審査特別委員会の審査意見に対する対応について報告をさせていただきます。行財政改革での審査意見につきましては、伊田地方創生専門監より報告させていただきます。

まずは、地域振興センター管理事務での審査意見。地域振興センターに地域担当職員を配置しているが、役割が曖昧で機能しているとは言い難い。所期の目的が達成されるよう職責や位置づけを明確にされたいという御意見であります。日南町地域担当職員制度実施要綱第4条のほうに担当職員の責務を明記しております。しかし、御指摘いただいたとおり、誰もが十分理解し、機能しているとは言い難い状況でございます。しっかりとその

役割、職責を果たすことができるよう職員研修会を開催し、共通認識を深めていきたいと考えております。また、必要に応じ実施要綱の変更を検討してまいります。

○久代委員長 伊田専門監。

○伊田専門監 失礼します。令和3年度決算審査特別委員会のほうの意見への対応です。企画課、行政改革に関する調査意見書として、自立改革推進本部が担当する行財政改革の取組が不十分である。各課への指導、協議ができていないほか、進捗の取りまとめも年度内にできていない。計画の点検を実行されたいと御指摘をいただきました。御指摘いただきましたとおりであり、令和3年度内に委員会を開催できず、行財政改革実行計画2020の1年目となる令和2年度の推進項目の計画に対する実績に対して、委員会の点検と評価の取りまとめや、各課の指導、改善協議に至りませんでした。改めておわび申し上げます。

日南町行財政改革推進計画は、町の計画の中でも特に主要な計画に位置づけられており、また、毎年推進項目の実績と点検の取りまとめを行い公表するとともに、改善につなげていくものとしております。町が公表している計画は、住民の皆様へのお約束事でもありますので、今後しっかり取り組んでまいりたいと考えております。対応、改善につきましては、令和4年7月11日に行財政改革推進委員会を開催いたしました。個別推進項目管理表により、令和2年度と3年度の計画の実績について取りまとめ、進捗状況について委員からのヒアリング方式で実績の確認を行い、後日、委員から18の推進項目に対する意見をいただき、意見に対し町の回答を取りまとめ、委員会に内容を確認した後、庁内で共有するとともに、令和4年度の推進に向けた協議や個別に助言をさせていただきました。委員会の状況については、ホームページに公表しております。町のホームページのトップページの「町長の部屋」のすぐ下に計画・まちづくりコーナーがあります。各種計画の中に日南町総合計画がございましたが、その下に総合戦略、行財政に関する計画を張りつけ、年次別に整理し、閲覧がしやすくなるように若干カスタマイズしております。

令和5年度につきましては、委員会の開催が速やかにできるように準備を今しているところでございます。令和4年度が終了しましたら、令和4年度実績と令和5年度計画を個別管理表に取りまとめ、自立改革推進本部で意見を付して委員会にかけ、庁舎内での共有と改善につなげるように努めてまいります。

監査意見に対する対応については以上でございます。

○久代委員長 ただいま決算審査の意見についての説明がありましたけども、これについ

て皆さんから意見がありましたらお聞きしますが、どうでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

それでは、令和5年度の企画課の予算について、説明を求めます。よろしくお願ひします。

企画課長。

○島山企画課長 失礼いたします。そうしますと、17ページから21ページ、総務費、広報公聴事業から電算管理運営事務について、一括で説明のほうさせていただきたいというふうに思います。

そうしますと、まず17ページ、広報公聴事業から説明させていただきます。予算額291万1,000円、対前年比25万9,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、委託料につきまして、物価上昇、燃料費高騰による紙、インク代等印刷費の値上がりによるものでございます。内容につきましては、大きな変更はございません。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、18ページから19ページ、企画一般管理事務でございます。予算額4,022万2,000円、対前年比2,312万9,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、モンゴル訪問に係る手配、コーディネート委託費として288万1,000円、中心地域整備に伴う令和5年度コンサルタント料として794万円、チャレンジ起業地域おこし協力隊、A型3名、B型1名の新規を見込み1,920万円、令和5年度からの新たな取組となりますインターン型地域おこし協力隊3名分として216万円を予定しております。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度以降中止しておりましたモンゴル・ゾーンモド市の訪問を検討しております。今回の目的は、友好交流はもちろんのこと、モンゴルからの労働力確保についても協議したいというふうに考えております。中心地域整備事業につきましては、12月の一般質問、2月の住宅施策及び中心地域調査特別委員会でも町長のほうが申し上げましたとおり、令和5年度から課題整理、住民意向調査、住民ワークショップ、事業手法の検討を開始したいというふうに考えております。生山から大田原、かすみ荘まで一体的に検討し、令和6年度に新たな整備計画を作成したいと考えておるところでございます。地域おこし協力隊につきましては、新たにインターン型に取り組み、隊員の定住率向上を図るとともに、隊員の確保にも併せて努めてまいります。また、第2期日南町総合戦略、日南町行財政改革実施計画につきましては、計画の4年目を迎えます。各課と情報共有を図りながら、進捗管理と計画の遂行

に努めてまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、20ページ、住民参画まちづくり事業でございます。予算額5,615万8,000円、対前年比541万1,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、地域活動支援交付金（集会所支援分）として192万円、地域支援活動地域おこし協力隊1名分480万円によるものであります。集会所支援交付金であります。各集落で維持いただいている集会所の維持管理経費として支援を行うものでございます。地域活動支援交付金に上乗せする形での交付を検討しております。令和5年度交流活動活性化交付金につきましては、7地域全てで計画を予定しているところでございます。地域支援活動地域おこし協力隊につきましては、企画一般管理事務のほうで説明させていただきましたインターン型地域おこし協力隊と連動し、地域の担い手を確保してまいりたいというふうに考えております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、21ページ、電算管理運営事務でございます。予算額1億1,608万6,000円、対前年比1,879万7,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、仮想基盤機器リース料として629万6,000円、文書管理・電子決裁システム構築委託料として657万8,000円、RPAの利用料として237万6,000円によるものでございます。現在の仮想基盤主要サーバーは、平成28年度に導入し、令和5年10月に保守期限が終了することに伴い、令和5年度からはリースによる機器更新を行うものでございます。また、文書管理・電子決裁システム構築につきましては、総務課と連携を図りながら導入を進めてまいります。RPAについてであります。定型の事務作業、支払いでありますとか入力作業でありますとか、そういったものを自動化することにより業務効率を向上させるとともに、人為的なミスを予防し、職員の生産性向上につなげていきたいと考えております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

以上、広報公聴事業から電算管理運営事務までの説明とさせていただきます。

○久代委員長 17ページの広報公聴事業から、皆さんの審査を求めます。

17ページについて発言。

古都勝人委員。

○古都委員 直接金額には関係ないんですが、執行部のほうで行政の懇談会を開いておられます、各地区に出てですね。広報はよく分かるんですが、そういったところに公聴の目的で行かれるというようなことがあるんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほどの公聴っていう部分になります。今現在、まちづくり懇談会としまして、今年に関しましては年明けから行ってまいりました。その中で、今年度に関しましては、自治協議会、まちづくり協議会の会長さんの会のほうで一つ共通のテーマを決めていただき、もう一つにつきましては地域のほうから決めていただく、こういった流れで進めさせていただきました。その後、基本的な流れはそうなのですが、地域からの要望事項でありましたり、そういったところは併せてお聞きさせていただきました。以上でございます。

○久代委員長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

ほかにありませんか。

坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 度々で申し訳ないんですけども、行財政改革の推進についてであります。

○久代委員長 ちょっと待ってください。

○坪倉委員 ごめん、これ広報公聴でしたね。

○久代委員長 項目がちょっと違いますので。

○坪倉委員 すみません、間違えました。

○久代委員長 次のところで質問してください。

広報公聴について。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

それでは、18ページの企画一般管理事務について。

大西委員。

○大西委員 二、三あるんですが、まず1点目、職員提案事業、中村町長が副町長時代に提案されてやろうと、職員のスキルアップということですが、4年度も聞いたわけですけども、4件が出ておりましたが、私、聞きましたけども何課が、4つの所属課を皆さんに教えていただきたいんですが、出た方4名、何々課、何々課1名って。

○久代委員長 職員提案の内容について。

島山企画課長。

○島山企画課長 どこの課の職員が提案をしたかということでよろしいでしょうか。4名ございまして、福祉保健課の職員が1名、総務課が1名、農林課が1人が2つ上げておりますので、3課から申請のほうが上がっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員　こういうのは最初の頃はよかったわけですが、だんだんだんだん尻すぼみになってますし、スキルアップという面でやはり皆さんに、どういのか、説明であるとかプレゼンテーションやるというレベルですね、やっば上げていっていただいて職員のレベルということをお願いしたいと思います。

次に、中心地域の活性化計画策定委託業務で、コンサル料で700、約800万ですが、これはコンサルタントを、もうその1事業何名ぐらいが来られて、どうするよな形にまで決まっておるんでしょうか。もう丸投げでぼんとするんですか。

○久代委員長　島山課長。

○島山企画課長　詳細につきましては、今後また詰めていくよな形にはなろうかと思えますけども、今現在、見積りを出していただいた仕様書がありますので、何人ここにかかる、丸投げでするつもりは全くありません。企画もしっかりと入りますし、中心地、各課に内容がまたがってまいりますので、恐らく各課の職員の代表も集まったり、そういうこともあるのではないかなというふうに想定をしております。

○久代委員長　大西委員。

○大西委員　特に中心地域は10年ほど前から、あそこ何々ゾーンということではいろんな委員会開き、アンケートを取り、住宅政策のアンケート取り、もういろんなことをやる。過去のしてきた蓄積があるんで、また全部をさらにするんじゃなしに、それを十分やっていたら効率のあるように、そして書いてあるのは、5年度中に策定業務の準備をして、6年度に策定すると。できる限りスピードアップして、それから病院建築とかいろいろなこともありますんで、やはり場所の問題とかこうしていくのは大事なんで、できるだけ執行される場合は5年度中に策定計画もつくるぐらいな意気込みでやっていたらいいんですが、どうでしょうか。

○久代委員長　島山課長。

○島山企画課長　大西委員おっしゃったとおりであろうというふうに考えております。企画課のほうとしましても、全くさらからどうしようかっていうことでは一切ありませんので、平成20年度に策定しました中心地域整備構想でありますとか、平成30年の実施のまちづくりアンケートの結果でありますとか、町長のほうからもある程度方針をいただいておりますので、それに基づきながら進めていこうというふうに考えております。

○久代委員長　大西委員。

○大西委員 次に、モンゴルの交流の件なのですが、もう何年になるんですかね、五、六年前、最初に行かせていただいて、そのときはやはり福祉の関係でモンゴルの方をいうことでしてまいったわけですね。その後、町長、議長も行かれて状況よく分かれたと思うんですが、雇用対策と今まで文化交流、これは続けていただいて結構なんですよ、これから雇用対策に注視しながら、ここの中で書いてある町内事業所とは、どのような分野で、何人ぐらいを検討されているのかを教えてください。それに対する費用はいくらかということを確認したいんですが。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 モンゴルの就業対策っていうところでございます。こちらについて、今想定しておりますのは、建設業、製造業、介護、こういった分野の職種の人を対象に、こちらに来て働けるような環境をつくれないうかということでも検討しております。背景には、昨年11月でありましたが、県内の日本語学校のほうに行かせていただきました。そこで、モンゴルに支店のある会社、実際岡山の会社でございましたが、そこから採用後、日本語学校に入って勉強するっていうようなスキームを見学してまいりました。こういった事例が日南町の中で取り入れることができないだろうかということも踏まえて、検討のほう進めていきたいと思っております。モンゴル、渡航に係る費用でございます、こちらにつきましては、全体で10名分を今想定はしておりますが、人選につきましては、今後再度調整が必要になってくるかと思っております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 ということで、今モンゴルを中心に検討していくという、これはいいと思うんですが、ずっと続けてほしい。あと、それに関連して、やっぱりそれ以外の国からも、ベトナム、中国ほとんどなくなりましたけれども、ほかの国の関係の支援というのは考えておられるのでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 現状としましては、モンゴルを中心に検討をしております。ただ、町内でもモンゴル以外の国から技能実習生を来ていただいておられます企業もありますので、そういったところでは、やはり国を超えて連携をしていくということも必要ではあろうというふうに考えております。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 先ほどは失礼いたしました。行財政改革4年目に入るんですけども、4年度

の現段階で計画に対する進捗度、進捗率っていうのはどういうふうに捉えていらっしゃるのでしょうか。

○久代委員長 伊田専門監。

○伊田専門監 進捗率、パーセンテージでは示せてませんが、特に項目によってできてないところが見受けられます。負担の適正化というところで、例えば料金改定だとか公会計の公表だとか滞納整理だとか、そういった後の世代に負担を負わせないっていうところが、項目についてはちょっとできてないというところで認識をしております。簡単ですが以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 今、具体的な説明があったほかにも、かなり計画とずれておる、進んでないというところもありますので、本当に積極的な推進を求めたいと思います。特に、創造的過疎のまちづくりがメインテーマの計画でありますし、今後につなげるためにも行財政改革、削減とかということばかりじゃない計画になっておりますので、前向きなところをお願いしたいと思います。

それと、チャレンジ型の地域おこし協力隊、募集して今ないということなんですが、支援団体についてはどのような応募状況があるのでしょうか。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 チャレンジ起業型地域おこし協力隊の支援団体につきまして、このたび募集を締め切りまして、現在3団体の応募がございました。その3団体の応募状況を鑑みまして、そこに希望する、マッチングしやすいような隊員の募集も今後進めていくという予定になっております。以上です。

○久代委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 すみません、関連したようなことですが、インターン型の地域おこし協力隊のほうの支援団体というか協力企業というかな、そちらのほうは何社ぐらい応募が今のところありますか。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 すみません、インターン型のほうにつきましては、現在1社応募がございました。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 それと、同僚委員が先ほど質問されましたけど、中心地域の活用の推進のた

めに、5年度から計画策定を行うという説明があるわけですが、さきの特別委員会のほうで、町長もワークショップなどを開いて計画策定業務に入るということですが、そういった中で、スケジュール等を想定した計画は今、企画課のほうではもうお持ちですか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 失礼します。現時点では、令和5年度と令和6年度のざっくりとした計画内容ではございますけども、令和5年度につきましては、まず先ほど委員のほうからもありましたけども、今までの経過、こういったものを一度整理することが必要ではなかろうかということ、あとは平成30年度のまちづくりアンケート、こういったものの検証、あとは各種計画との整合性を取っていく必要がありますので、そういったものの検証、あとは現地確認、こういったものを行っていくようにしております。先ほど日南病院の話も出ましたけども、令和6年度はそういった日南病院の検証結果も踏まえたような形で、実際に絵を描いていくというような予定を組んでおります。

○久代委員長 よろしいですか。

近藤委員。

○近藤委員 それともう1点。これも同僚委員が質問されましたけど、モンゴルのほうの雇用対策に注力するというので、前年からずっと取り組んでおられます。その進捗、反省踏まえて、5年度はまず一步を踏み出す、それは何から手をつけていくということが大事だという意見集約されておられますか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 平成30年からモンゴルとの技能実習生を活用したものであるということで、雇用のほうも検討してきた経過がございます。ただ、コロナの影響もありましてなかなかできないということや、職種によっては本当に1年しか技能実習では滞在することができないということは、やはり日南町の事業者が抱えている課題解決になかなかつながらないというのは、技能実習ではつながらない部分もあるのかなというふうに考えておりました。先ほど、榎尾室長のほうも発言をされましたけども、もっとほかの、技能実習のビザではなくて、例えば就労ビザで来ていただくためにはどうしたらいいだろうかというようなことを、今年度はしっかりと検証していきたいというふうに思っております。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 ということは、募集に向けての体制を検討していくという、再度、再構築することによってよろしいですか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 そのように考えていただいて結構です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 たったもカードの行政ポイントについて伺います。企画一般のほうで、全ての課をまとめて100万円という予算計上がしてあるんですけども、内容によりましては、いろいろとイベント的なこととか学習の関係とか健診とか様々な種類があるんですけども、これらは実際に行政ポイントを付与するためには、付与するための機械がその場にはないといけないかとは思うんですけども、そこら辺りの対応はどのようになっておるのでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 現在、今年度もそうだったんですけども、企画のほうで行政ポイントは一括して付与のほうをさせていただくような形を取っておりました。ただ、実際その現地にまで企画の職員が行くというわけではなくって、例えば教育委員会なんかだと、企画のほうで持っております付与の端末をお渡しさせていただいて、教育委員会の職員がその場で付与するというような形を取っておりました。企画課で保管しております予備の端末を使ってそのように行っております。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 いろいろと今回から、新たにまち協が実施する事業に対しての参加等にも使われるようなんですけども、その場合には事務長さんですか、誰が機械を操作することになるのでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今年の予算のほうにも計上させていただいておりますが、端末のほうを各地域振興センターのほうに配置いたしまして、事務長さんのほうに付与していただく、このような形で考えております。以上です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 すみません、それと、そういうようなこれだけいろんな事業、対象事業があるわけなんですけども、そのときに皆さん参加する方々は、たったもカードを持参をその場にしなければならないというような流れになるわけでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 基本的に、広報の段階、例えば地域において行う活動においてっていう場面

におきましては、たったもカードを持ってきてくださってという広報の仕方っていうのはやっていかないとはいけませんが、ポイントの付与の仕方的手段として、後日ポイントが付与できるポイント券っていいですか、そちらも併用っていうことも検討していかねばならないかなと思っております。以上です。

○久代委員長 古都委員。

○古都委員 2点お伺いします。モンゴル関係でございますが、役務費のほうで記念品の配送料というのが23万4,000円組んであります。何の記念品かということをお伺いたしますし、昨年の場合には、向こうの80周年記念か何かで送ったような気がしておりますが、それについて一つ。

もう一つは、その下の委託料の中にコーディネート委託料ということで288万1,000円組んでありますが、これはどういう形のものが、この2点についてお伺いいたします。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 まず1点目のほうでございます。発送のほうでございますが、昨年度はランドセルのほうを日南町のほうからモンゴルのほうへ送らせていただきました。多くの皆さん、県内だけではなく県外からもランドセル寄せていただきまして、計80個送らせていただきました。今年度について、まだ具体的にこれっていうものは決まっておりますが、今現在、事前に打合せをしてる中では介護用品、いわゆる大人用のおむつ、こういったものを送っていただきたいっていうのは聞いておりますが、まだ確定した話ではありません。そちらの発送費用で役務費のほう組まさせていただきますいております。

下段の委託料のほうでございます。こちらのほうはモンゴルに渡航するための費用、いわゆる旅費分に当たる部分を旅行会社さんのほうへお願いをしてやりますので、委託のほうで組まさせていただきます。以上でございます。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 中心地域のことに戻りますけども、まず中心地域のエリアについて、生山・霞、大田原という表現がしてありますけども、一番最初あったようなエリアを想定されるっていうことなんでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 坪倉委員おっしゃったとおり、そのエリアで再度検討するように考えております。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 広く検討されるのはいいと思いますが、一番急がれるのはやっぱり大田原だと思いますが、その中でワークショップとかっていうことは出てますが、全体のフローチャート、どういう手順で、どういう基本理念で進められるかということについて説明をいただきたい。

○久代委員長 課長、原案のフローチャートというか、そういう資料は既にできていますか。もしできてればお願いします。

○島山企画課長 令和5年度、令和6年度の中心地の策定に向けたワークフローを作成ができておりますので、また皆さんのほうに見ていただければというふうに思います。

○久代委員長 それはぜひ資料提供、審査に使いたいと思いますのでお願いします。

そのほか。

岡本委員。

○岡本委員 先ほどの委員の質問にもありましたけども、まち協でたったもポイントを付与できるということ、これもどういうルールでやるのかっていうことがある程度決まったら資料提供をしていただけると、皆さん興味があるとこだろうと思うんですけども。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 基本的には活性化交付金に併せてやらせていただきたいと思っておりますので、具体、こういったものに充てたいっていうものはお聞きしておりますが、まだ正式なものではございませんので、正式になった後にまた御相談させていただきたいと思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 ということは、例えばこれに対して何ポイントやりますとかっていうのも、じゃあ相談して自由に決められるという、そういうことなんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 一定のルールは設けさせていただきたいと思っております。共通する項目について、例えばまち協主催の環境美化作業があります。一方では100ポイント、一方では10ポイント、そういったそごがないような形で整合性は取っていききたい、いわゆる申請をしていただいた上で、並べて検討させていただく、このような流れを思っております。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、20ページ、住民参画まちづくり事業について。

近藤委員。

○近藤委員 この事業説明の中の8番目の、移住者の受入れや関係人口の創出という文言が使っていますが、この関係人口の創出というのは何を基準に持っていられるのか。関係人口の創出というのは数なのか何なのか、その辺のことをどんな捉え方をされておられますか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 この8番に当たります創出事業のほうでございます。令和5年度で3年目を迎えます。いわゆる移住ってところと関係人口につきましては、人との関わりの、来ていただく件数っていいですか人数っていいですか、こういったところも踏まえて成果というのは求めてまいりたいとは思っております。内容としまして、なかなか移住だけっていうのは厳しいところもありますので、いかに日南町に関わっていただく、来ていただく機会を設ける、こういったような要素を主と置きまして、この事業のほうを進めてまいりたいと思います。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 関係人口というのは大変幅の広い言葉でありまして、先ほど室長がおっしゃったように、移住する方、日南町に来ておられる方、また日南町に籍はないけど日南町の行事に協力する方、それから観光で訪れる方、いろんな方があって、その関係人口を創出するということは大変幅広い活動に対してこの交付金がなされるべきだと思うわけなんで、その辺の、要するにくくりですね、はっきりとした制度設計は必要であるではないかと思いますが、どうでしょう。

○近藤委員 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほど委員のおっしゃられましたように、関係人口、移住、幅広い分野において取り組める内容となっております。こちらにつきましては要綱のほう定めさせていただいておりますので、そちらをもって幅広い形、地域の皆さんに使っていただけるような、移住者を受け入れたり、関係人口を創出したり、こういった可能性がある分野についてはできるようにさせていただいておりますので、このような形で進めさせていただきたいと思います。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 集落支援員交付金1,700万あるわけですが、同僚委員が資料請求されて、交付金の各地区の割り振り、一律に各地区248万4,000円が入っておりますが、この強化型とか通常の支援員さんとか、この辺の各地域ごとに違うと思うんですね。それは、

これから3月に募集をかけて、まち協さんの会長さんが面談して決まっていくと思うんですが、一律、予算だからということですが、実態等はどうかでしょう。今の状況では、やはり地域の会長さんなりいろいろな方の声を聞きながら、あ、うちは強化型が必要だと、それから集落支援員さんが3名必要だと、そういう状況をつかんでおられますでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほど委員のおっしゃられましたように、予算に関しましては全て強化型のほうで計上をさせていただいております。その中で、令和4年度の状況ですが、当初、強化型は4、普通型が3という形でスタートしましたが、事業検討する中で、集落支援員さんを増やしていきたいということで、途中で集落支援員さんを採用されたまち協さんのほうもございます。結果、最終的には強化型5、普通型2つというような状況で今年度終わるような状況でございます。来年度に向けてついでございまして、基本的な仕事の内容につきましては、各まち協さんのほうと相談しながら決めさせていただいております。その中で、いわゆる5か年計画に沿った形で事業運営する中で、その役割を補填するっていう意味で、年々普通型ではなかなか人が足りないところを強化型に変更するっていうケースが出ております。具体的には、まだ最終的な取りまとめっていうのができてない状況ではございまして、来年度、令和5年度におきましても、強化型のほうが多くなるのではないかと考えております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 令和4年度も、町報で出たときに、ああ、この地区はおられないんだとか、ある地区にとっては強化型で3人ぐらいをカバーするとか、いろんな柔軟な対応されたと思うんですよ。事務長さんなり、それより違った形での集落支援員強化型と、大変重要な位置だと思うんですが、やはり実のあるものにしていただきたいんで、予算は予算ですがその辺よく厳密にさせていただいて、そして一番大事なのは、今まで規則の中はあんまり書いておられなかったんで、募集の中で要領とかが、まち協さんの会長も御存じない会長さんもおられたんで、やはりきちっと意欲を持って、そしてまち協の活動によくしていただきたいわけですから、予算総額は1,700万ですが、実際は必要に応じてきちっとされると思いますが、その辺をやっていただきたいんですが、いかがでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 まさに、先ほど委員のおっしゃられるとおりでございまして。こういった集落支援員さんの役割っていうところにつきまして、当初は、本当に大変失礼な話になります

が、一番最初、なかなか明確にならないときにはセンター周辺の清掃、こういったところから事はスタートしましたが、だんだん集落支援員さんの役割っていう部分、ウエートっていうのが多くなってきております。必ずと申しますか、事務長だけではなかなか事務の回らない部分を集落支援員さんに担っていただいている部分もございますので、各まち協さんのほうと話をしていきながら、この集落支援員さんの必要性っていうものについて考えていくとともに、上げさせていただいてる予算、集落支援員さんと効果的な事業運営ができるような形で進めてまいりたいと思っております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 各地域の活動支援というのは、これは昨年から始まっていいんですが、新たに今年は集会所の支援を2万4,000円ということで打ち出されました。結果的に、何か所に2万4,000円を交付されるのか。全体で何か所なんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今現在、今年度、各自治会を回らせていただきまして状況を、集会所の数等確認をいたしまして、78か所集会所があるっていうふうに把握しております。この中には自治会が持つておられるところ、班が持つておられるところ様々ございますので、来年度、交付金の申請時において最終的な数っていうのを把握するようになりますが、現状78っていうことで予算は上げさせていただいております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 分かりました。私、この集会所の支援で192万って驚いたんで、あえて何か所かと聞いたわけです。ところが、この192万円を2万4,000円で割ると80か所なんです。この2か所の差は何でしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 おっしゃられるように、予算に計上させていただいたのは2万4,000円掛ける80で積算をさせていただいております。この2か所につきましては、万が一漏れ等あったりした場合、今回、回らせていただいた中で、必ずしも全ての班長さんがいらっしやらなかったとかそういったケースもありましたので、すみません、ちょっと保険的な要素もあつたりしますが、この2か所を増やした形での予算要求をさせていただいております。以上です。

○久代委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 若干、今さらのような質問をさせていただきます。自治会活動保険の内容に

ついて、対象と金額、補償ですね、それについてお伺いします。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 自治会保険につきましては、まず年度当初に各自治会さんのほうに入っているだけで保険の内容を決めていただきまして、こちらで一括まとめて保険を掛けるというような流れとなっております。自治会保険の対象となるものでございます。自治会保険の対象になりますのは、各自治会の総会資料に書かれております事業内容について実施を行った場合、万が一自治会で行われる事業内容だけが等あった場合は、自治会保険の対象となります。医療費、入院費、通院費、こちらにつきましては各掛金によって違ってまいりますので、一律これっていうものはございませんが、そういったものが給付の対象となります。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 要するに、自治会に加入、自治会の中で事業計画にのっとった活動であるならば、この自治会に加入していない方がその行事に参加しても、それは補償の対象になるということよろしいですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 そのことにつきましては、自治会の中で誰が構成員なのかっていうところが明確になっていれば、先ほど委員のおっしゃられました日南町内に住所のない方においても対象になります。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 構成員と自治会に加入している立場の人が違ってよいということですか。構成員イコール自治会員でなければいけないのではないかというような認識、要するに、掛金を掛けた方でないといけないという。ただ、自治会活動やっていく上には、町外の方も参加してもらうことも多々あると思うわけなんですね、イベントとかいろいろするときには。そのときの補償というものが、これが活用できるかできないかということ。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 失礼いたしました。自治会で、例えば盆踊り等のイベントを行います。自治会に入られてない方が、そちらに参加してけがをされた場合はっていう認識でよろしいですか。（「そうそう」と呼ぶ者あり）そちらにつきましては対象外となりますので、あくまで自治会に加盟されている方がこの保険の制度の中で有効になります。以上です。

○久代委員長 古都勝人委員。

○古都委員 先ほど、同僚の委員から質問が出ておりましたが、いわゆる集会所の支援、78か所ということですが、状況を見ますと、自治会に1個の集会所のともありますし、小部落で小さな集会所が何個もある地域もありますが、これは同額交付ということになつとるのでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 基本的には、自治会で管理されてる集会所及び班で管理されてる集会所、それぞれ同額としております。以上です。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、21ページの電算管理運営事務に移ります。

電算管理運営事務、よろしいですか。

岩崎委員。

○岩崎委員 新たに導入します文書管理システムと仮想化基盤再構築の導入ですけれども、この2つにつきましては債務負担行為が絡んだ事業であります。それぞれ6年度以降の債務負担行為額も限度額が設定はされておりますが、ここで表現として、仮想基盤更新リース料という名前ですね、あと電子決裁・文書管理システム利用料という表現がしてあるわけですし、ちなみにこのたびの5年度の予算の中では、先ほどの説明では委託料の中に両方とも入ってるのかなと思いますが、リース料であれば使用料及び賃借料のほうに予算化されなければならないものではないかと思われませんが、いかがでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 まず、1点目、仮想基盤の構築でございます。こちらにつきましては、役務費の中で予算のほう計上させていただいております。

続いて、文書管理につきましては、まず構築業務につきましては委託のほうで組まさせていただきます。実際に活用する部分につきましては、令和6年度以降、債務負担で上げさせていただいております利用料っていうものを計上させていただくように予定しております。以上です。

○久代委員長 岩崎委員、分かりましたか。

岩崎昭男委員。

○岩崎委員 要は、仮想化基盤再構築、これについては、いわゆる役務費で支出なんですね。役務費、リース料を役務費で払っていくということですね。

それで、電子決裁・文書管理システムについては、それを構築する部分は委託して構築

して、それ以降は使用料及び賃借料でしたっけ。すみません、ちょっともう一回確認したいんですけど。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 すみません、失礼いたしました。先ほど私のしました発言でちょっと誤りもありましたので、改めて御説明させていただきたいと思います。

仮想基盤につきましては、令和5年度予算につきまして使用料及び賃借料、こちらの中に含まれております。金額にしまして629万6,000円を予算を上げさせていただいております。

文書管理システムにつきましては、委託料、こちらの中に初期費用入れさせていただきまして、令和6年度以降、この文書管理システムの使用料をお支払いさせていただく、このような形で予定をしております。以上です。

○久代委員長 よろしいですか。（発言する者あり）

それでは、坪倉……（「すみません、もう一回」と呼ぶ者あり）あ、もう一度。（「もう一回」と呼ぶ者あり）

岩崎委員。

○岩崎委員 文書管理のシステム導入は、5年度は導入するんだけども予算はない。6年度以降で分割払いみたいな話ですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今年度、令和5年度につきましては開発を主にしていきますので、具体的な運用開始っていうところは、若干令和5年度からデモ的に使ってはまいります、本格稼働っていうのは令和6年4月からっていうことを今想定しております。以上です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 いや、結局、文書管理は委託料の中に、令和5年度には予算はないと、ゼロ。ここが幾らかかっとなの。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 失礼しました。委託料の中に開発費用のほうに入れております。金額のほうですが、657万8,000円、こちらは委託料の中に組まさせていただいております。以上です。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 デジタルトランスフォーメーション、アクションプランについて何点か伺い

ますけども、令和5年度から窓口のサービス、いわゆる書かない窓口とかぴったりサービスとかっていうところに取り組むってということがあったんですが、具体的にどういう形で進められる、どういう業務が実施される予定なんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 アクションプランの中におきまして、先ほど委員のおっしゃられましたぴったりサービスですとか書かない窓口っていうのはありますが、申し訳ございません、まだ具体的にこの時期からどの業務というところまでができておりません。そのことにつきましては、今現在、DXのチームメンバーにR4、R6、特にR5のタスクリストを今作成しております。この中で、タスクにいつからやっていくのかっていうのを明確に落としの上で実施、開始っていうのを行ってまいりたいと思います。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 今現在、到達目標といいたいでしょうか、どこまでやるかっていうところも定まってないということなんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 定まってるか定まってないかっていうとで言うと、定まってないのが現状です。ただし、電子申請っていう分野におきましては、一部できるところはありますが、正直本当に一部であって、全体的、今、日南町が進めていく、いわゆるぴったりサービス、オンラインサービス、オンライン上での手続きができるってところをトータルを見たときにはできてない状況です。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 それと、サテライトオフィスの関係も出てます。5年度からということなんですが、これの具体策、具体的な説明を少しお願いしたいと思います。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 アクションプランの中に、サテライトオフィスの記述をさせていただいたかと思います。こちらについては、担当課、総務課と企画のほうで内容を詰めておりますが、こちらにつきましても、令和5年度、どこか施設を改修してってというような予算のほうは計上しておりませんで、令和5年度についてはそういった可能性を探るってところから、さらに日南町内でサテライトオフィス、いわゆるサテライトオフィスに限らずワーキングスペース、こういったところができないだろうかというのを視野に、今タスクリストを作って、令和5年度以降どのような形にしていくのかというのを検討してるよ

うな状況です。以上です。

○久代委員長 よろしいですね。

坪倉委員。

○坪倉委員 それと、もう1点は、SNSの情報発信、これまでも公式フェイスブックとか取り組まれておりますけども、5年度からまた新たにというか一新をとという思いもあるんでしょうけども、具体的にどういうことをされようとしているのか。そして、媒体につきフォロワー5,000人とかっていう目標も掲げておられるんですけども、具体的な方策について説明をお願いします。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 SNSにつきまして、今現在、町として公式なものとしたしまして、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、この3つのほうがございます。ここの今のフォロワーの状況ですが、フェイスブックが最も多くて、今1,098人っていうような状況です。それ以外につきましては、まだまだインスタにつきましては300人台、ユーチューブに関しましては60人台と大変寂しい状況となっております。ここを画期的に増やしていく手段として、特に今、インスタグラムにつきましては、#のつけ方、いかに今検索されているワードを#としてつけていくのか、それに合った日南町の状況をどう見せるのか、こういったことをテーマに考えながらやっております。あわせて、インスタグラム、昨年からはじめて再生回数、いいねの数が最も多いのが、動画を上げたときに最も多くの人に見ていただくっていうことが分かっております。こういったところを、今写真だけではなく動画っていうところも取り入れていきながら、情報発信のほうを強化していきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 やっぱりホームページの管理についてであります。一般質問でもありましたけども、依然として古い情報があったり、あるべき情報が、あってもいいのかなという情報がなかったりしております。管理について、改めて伺います。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 ホームページの管理っていう部分でございます。こちらも以前からずっといろんな委員さんのほうに御指摘いただいておりますように、古い情報がそのまま、リンクが切れてる、こういったところがあるのがまだまだ現状でございます。そこにつきましては、企画課内部職員のほうで1つずつ今チェックしながら、古い情報、整合性がない、

こういったところも確認しながら徐々に徐々に直してるのが現状でございます。企画課だけではなく、町全体、町職員全体がこういった意思を持って更新、発信っていうのをしていかないといけないと思っておりますので、この辺り、改めて担当課のほうから各課のほうへは要請していきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 それともう1点は、病院の関係ですけれども、遠隔医療システム、これもアクションプランにあるんですけれども、これの今の検討状況等について説明をお願いします。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 アクションプラン内に遠隔医療っていうのがあります。こちらについての達成目標につきまして、担当課、いわゆる病院の職員とヒアリングを行った中で、目標につきましてなかなか明確でない部分っていうのがありました。したがって、何を目標にするのか、どこをゴール地点にするのかっていうのは、再度ゴール設定を行うっていうことを今現在行っております。したがって、来年度以降、この遠隔医療を進めるっていうわけではなくて、どのような体制であったりですとか、こういったところを再度検討しながら遠隔医療を推進していきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 よろしいですか。そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

続きますのは、総務費の地方振興負担金管理事務から指定統計調査事務まで、22ページから28ページまでの説明を求めます。

島山課長。

○島山企画課長 失礼します。そうしましたら、22ページから28ページ、総務費の地方振興負担金管理事務から指定統計調査事務までの説明のほうをさせていただきたいと思っております。

そうしますと、22ページ上段、地方振興負担金管理事務でございます。予算額728万4,000円、対前年比57万5,000円の増でございます。内容につきましては、令和4年度と変更ございません。西部広域には、引き続き負担金の平準化を求めてまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きます、22ページ中段から23ページ、青年結婚・UIターン促進事業でございます。予算額6,495万4,000円、対前年比249万2,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、賃借用空き家整備の1件増によるものでございます。令和5年度から令和4年度まで、企画課で事務を行っておりました住宅改修補助金、家財

道具処分補助金、空き家リノベーション補助金など、山里Loadにちなんへ業務委託することにより、移住定住施策をより一体的に推進できるよう体制整備を行ってまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、24ページから25ページ上段、公共交通確保総合対策事業でございます。予算額9,642万8,000円、対前年比2,910万9,000円の減でございます。主な減額要因でございますが、令和5年度は車両更新予定がなく、令和4年度分の中型車両1台、小型車両1台分が皆減となっております。令和4年10月からドア・ツー・ドア型デマンドバスが運行をスタートしました。5か月が経過し、徐々に利用者が増えている状況でございます。乗降場所、運行車両など、まだまだ解決しなければならない課題がありますが、住民の皆様の声を反映し、必要な改善に努めてまいりたいと考えております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、25ページ中段から26ページ、タウンズネット管理運営事務でございます。予算額1億1,354万1,000円、対前年比1億6,000万8,000円の減でございます。主な減額要因であります。タウンズネットF T T H化により不要となったケーブルの撤去工事費用、電算室移転業務の皆減によるものでございます。また、増額要因としまして、携帯電話不感地域解消エリア整備事業によるものでございます。携帯電話の不感地域について、鳥取県を通じ国へ要望を上げておりますが、大きな改善は見込めない状況でございます。また、令和4年度には改めて調査を行い、多くの町民の皆様から各御家庭での不感状況の報告をいただきました。緊急時の連絡手段としてなくてはならないツールであり、各キャリアと連携しながら不感地域の解消に努めてまいります。また、令和4年度に実施いたしましたM i n e c r a f tワークショップにつきましても、教育委員会とも連携し、小・中学生の年代からデジタル人材育成を目指してまいりたいと考えておるところでございます。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、27ページ、地域振興センター管理事務でございます。予算額4,453万2,000円、対前年比578万6,000円の減でございます。主な減額要因であります。人件費の減額、日野上地域振興センター、多里地域振興センター改修工事の皆減によるものでございます。増額要因であります。山上地域振興センター体育館屋根改修工事によるものでございます。また、備品購入費としまして、各地域振興センターにウェブ会議、災害時に利用できる大型モニターを導入いたします。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、28ページ、指定統計調査事務でございます。予算額31万1,000円、対前年比11万9,000円の減でございます。報酬を伴う調査として、令和4年度は就業構造基本調査、住宅・土地統計調査予備調査を、令和5年度は住宅・土地統計調査を行いますが、その経費の差額が予算額に影響しております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

以上、地方振興負担金管理事務から指定統計調査事務までの説明とさせていただきます。

○久代委員長 ただいま説明をしていただきました。

22ページ上段から、地方振興負担金管理事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）ありませんか。

そうしますと、下段の青年結婚・UIターン促進事業について。

大西委員。

○大西委員 すみません、委託料の中で、空き家借り上げ整備事業として1,200万入っておりますが、この具体的な内容を、例えば何軒なのか、もう少し詳しく教えてください。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほう、600万掛ける2軒ということで1,200万を予定しております。R4年度と比較しますと、今年度、R4年度につきましては500万の1軒ということで計上させていただいておりましたが、実際に今年度やっていく中で、500万ではなかなか修繕が難しかったというところがあります。妥協した部分もあります。こういったところを鑑みまして、100万上乗せをした形で2軒分ということで計上させていただいております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 分かりました。600万、2軒ということで。これ、具体的に2軒はもう候補があるんですか。それとも、これから探すんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほうは、山里のほうで借り上げていただきまして、その後一般のほうに広報して入っていただく、このような流れの事業になります。2軒の候補地でございますが、今年度は生山地内1軒借り上げてやっております。来年度につきましても、同じく生山・霞地内で1軒、もう1軒につきましては、ほかの地域でということ今検討は進めておりますが、まだ具体的なこの家っていうところまでには至っておりません。以

上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 これ、空き家借り上げして、整備して、じゃあそこに対して月の家賃取るのか、もうそれを売ってしまうのか、それはどうなんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらにつきましては、まず山里と家主さんとの間で賃貸借契約を結んでいただきます。その後、実際入っていただく方が決まった場合には、山里と借主さんが契約をして使っていただく、このようなスキームで考えております。以上です。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 同じところですけども、そうすると、山里L o a dは金銭的な負担はないという、この600万であくまでも修理を、修繕を完結するということなんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほど委員のおっしゃられたとおりです。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 まるごとバンクは、これ印刷だけで、去年から進められとるものを印刷、製本して配布をするということによろしいですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほどの移住パンフレットの印刷費ということで計上させていただいておりますものにつきましては、今年度、版が出来上がりましたので、こちらのほう印刷して、都市部のほうで配布していきたいと考えております。以上です。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 あと1点ですけど、山里L o a dにちなんに委託料が5,000万ばかりあるんですけども、山里L o a dにちなんの自主事業としてはどういうことが予定をされているのか、金額的にも含めて。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 山里L o a dの自主事業っていうところになります。こちらにつきましては、まずはサイクリング、昨年度、自転車のほうを計上して、今現在8台で運用しておりますが、そのサイクルのツアーですとかイチョウのツアー、こういったものを中心に、あ、もう一つ、これまで山麓協のお金を使ってモニターツアーで行ってました、たたらですとか歴史、こういったところを本格的にツアーとしてやっていく、こういったところで自主事

業を考えております。すみません、金額的な部分につきましては、物品の販売ですとかこういったところを踏まえて、あくまで試算っていうところになりますが、全体で300万から400万程度の収入を山里自体、自主事業で見込んでおります。以上です。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 事業の概要の⑤番の来訪者への移住定住相談の実施や、移住後の相談も個別に対応する相談窓口の設置を行うということなのですが、これはどちらで。（「委託」と呼ぶ者あり）委託でやってるんです。

そしたら、もう一つ、それと関連して、執行経費のほうで、下のほうに使用料及び賃借料で相談用自動車リースというのがあって、これは山里Loadの自動車ということなんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 まず、5番のほうの窓口の設置につきましては、山里Loadのほうを今想定しておりますので、こちらのほうのことを書かせていただいております。あと、役場で全く受けないっていうわけではありませんので、双方で受付は行うっていうことは想定しております。

あわせて、執行経費の中にあります自動車のリース料につきましては、こちらのほうは企画課で管理してる公用車になります。そのリース代のほうを組まさせていただきます。以上です。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 分かりました。双方で相談を受け付けてるっていうことですね。だから、案内とかもされてるとい、はい、分かりました。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 先ほど委員のおっしゃられましたように、双方で受付を行い、基本的には両方一緒になって、一番最初のファーストコンタクトにつきましては、役場も山里も一緒になって話を聞く、その後については、山里Loadにちなんのほうを主体として相談業務のほうやっただいただいております。以上です。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 分かりました。あと、それと別のことで、にちなん新生活応援奨励金なんですけれども、これは本会議でもお聞きしましたが、実際に使ってる人もあまり多くないということと、あんまり若い人だけに奨励金を出すのがいいことなのかどうかっていうのを

私は思うんですけども、これで100万円の予算ですと、県が2分の1出してるので、町としては50万円の負担です。だから、非常に単純な話をすると、例えばこの50万円をたったもカードの5,000円に上乗せして転入者全員に配るということも、だから5,000円のところを1万円にするということも可能なわけなんですけどね。例えば、すごく単純といえば単純な話なんですけども、本当にこの若者だけに奨励金を出すっていうことが効果があるのかどうかっていうことをどのように考えとられますか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 このことに関しましては、まず、県としてっていう部分もありますが、町としても、いかにこの若い世代、この年齢制限、おっしゃられるように、そこに制限を設けるっていうところもありますが、39歳以下、この若い年代層の方に来ていただく、ここに重点を置いて日南町としても取り組んでいきたい、このように考えさせていただいております。あわせて、先ほど後段で委員のおっしゃられました方法でございます、この方法について、おっしゃられるように、そういった手段もあろうかとは思いますが、そうすることによって幅広い層においてそういったところもできると思いますが、この辺りはもう少し事業スキームっていうのを考えた上で検討させていただきたいなと思います。以上です。

○久代委員長 荒木博委員。

○荒木委員 先ほど質問されたところですが、空き家借り上げ整備事業についてですが、生山が1軒決まってるのと、あともう1軒当然あるわけですが、この窓口というのは山里Loadのほうに申し込むんですか。それとも、どなたがここにしますというのを決めるんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 すみません、事業の流れになりますが、山里がまず家主さんと交渉をして、ここを借り上げるっていうことになります。実際の利用者様につきましては、山里のほうに申し込んでいただいてその家を借り上げるっていうことになりますので、基本的な受付っていうところは山里Loadにちなんを想定しております。以上です。

○久代委員長 荒木博委員。

○荒木委員 ということは、もしか家があって、家を持っとられて、今住んでない方がおられた場合、山里Loadのほうに申し込んでいけばいいわけですよ、ですよ。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 あくまで、空き家を利用したい利用者さんにつきましては、山里Loadの

ほうに申し込んでいただく。空き家を借り上げるっていう行為につきましては、山里がもう町内全域巡って空き家のほうを借り上げてまいりますんで、基本的な利用者様につきましては山里に相談をしていただく、このような流れっていうものを想定しております。

○久代委員長 荒木委員、起立して発言してください。

○荒木委員 そうですね、空き家を改装していただきたいときに申し込むのは、山里L o a dに申し込むんですか。（「改装」と呼ぶ者あり）600万円の予算をして改装するわけでしょう。そのときの申込先というのは山里L o a dになるんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 すみません、説明の仕方が悪く、申し訳ございません。この600万円を使って、山里が借り上げたお家を改修します。山里が改修したお家をホームページ等載せて、利用者の方に入っていただく、このような流れを今想定しております。以上です。

（発言する者あり）

○久代委員長 今の説明で分かりましたか、荒木委員。坪倉委員、荒木さんのさっき質問だったから。荒木さん、質問をまとめてください。答弁を榎尾室長にしてもらいますので、もう一度。

○荒木委員 空き家を持つてる方がこの事業に入りたいときは、山里L o a dにちなんに申し込むんですか。だけえ、山里L o a dにちなんのほうがこの空き家を探して、改修するということでしょう。ですけど、出したいというときがあったときには、窓口はどこになるんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 失礼しました。まず、この600万円につきましては、空き家を決めるのは山里のほうを探しに行きます。申込みにつきましては、今も同様なシステムですが、空き家バンクの登録、こういった流れの中でお家の状態を見させていただいて、この600万円を使うかどうかの判断は山里のほうで行います。いずれにしましても、空き家を持っておられる方の受付の窓口につきましては、山里L o a dにちなんということで今整理をしております。以上です。（発言する者あり）

○久代委員長 分かりましたか。

○荒木委員 何となくです。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 それでは、600万の工事はどの程度を想定されてますか。例えば、風呂、

流し、便所、水回りですよ、大体一番多いと思いますが。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 基本的には、家の状態によって違ってくると思います。600万円という限られた金額になります。そういった中で、まず最初、どこかって言われると、やはり水回りを中心にとすることは今考えております。家の状況を見て、ここもってことになれば別の場所ってということもあり得ると思いますが、お風呂、トイレ、台所がきれいであるってというのは入られる方にとっても印象がいいですので、こういったところを中心にとすることは考えております。以上です。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 山里L o a dへの委託料の関係ですけれども、去年どおり青年結婚・U I ターン促進事業の中と、それと観光振興の事業の中から出されとると思うんですけれども、御丁寧にもう既に資料提供のところに、企画課の中に山里L o a dにちなんの委託料の請求の事業の一覧が入っていました。この委託料、すみません、委託料ですね、令和5年度の、この金額というのは、今この説明資料の青年結婚・U I ターン促進事業の中の委託料5,064万3,000円というのは、これは全額が山里L o a dへの委託料になるのでしょうか。それと、ちょっとどうしてもこれが、山里L o a dは移住定住と観光が絡んでますのでちょっと観光のところの金額も見ていただいたらいいんですけども、観光振興の分では委託料ということ、これ明確に山里L o a dへの委託金6,187万円が上がっております。この2つを足したものが、資料提供されております合計額にどうも足してもならないんですけども、ここら辺の考え方について伺います。

○久代委員長 山里L o a dに委託料として、予算上、最終的に金額を明らかにしてほしいという質問です。

榎尾室長。

○榎尾室長 基本的な山里への委託料のほうにつきましては、先ほど委員のおっしゃられました観光振興対策と、こちらの青年結婚・U I ターン、こちらの委託費を合計した金額になりますが、その中で委託に組まれてないもの、例えば説明資料23ページで申し上げますと、まるごとバンクの132万ですとか、すみません、ちょっと観光のほうになりますが、観光のほうで上げてる生山駅に関する費用250万、こういったところは上がってきておりませんので、必ずしも委託料を2つ足してイコールということにはなっておりませんので、申し訳ございません。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 事前にこの委託料の積算の資料を登録していただいたんですけども、結局、役場が、町が、山里L o a dにちなみに委託する事業と山里L o a dにちなみにのトータルの事業というものがもう少し分かりやすくやっていただけたら、この説明資料と委託料の積算の表とマッチして分かりやすいんですけど、山里L o a dに要は委託する事業なのか、企画課としてやる事業なのか、これが分からないんですよ。もう本当にそれも、かつ事業が移住定住と観光に分かれとって、去年は1年目ということで特にそうだったんですけども、どのようにチェックしていくのか確認のしようがない、正直。ですから、既に山里L o a dにちなみにのほうの全体の予算もできてるかと思うんで、それと併せて、今、資料請求のフォルダーに入ってるものをもうちょっと分かりやすく作っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 おっしゃられるように大変ちょっと分かりにくい感じになっておりますので、こちらの先ほどありました話につきましては、再度分かりやすいような形にして提示させていただきたいと思います。以上です。

○久代委員長 後刻、資料提出するということで、岩崎委員、よろしいですか。

○岩崎委員 はい。

○久代委員長 分かりやすい資料を提示してください。お願いします。

そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ちょっと審議の途中なんですけども、しばらく暫時休憩をしたいと思います。再開は2時40分といたします。

〔休 憩〕

○久代委員長 休憩前に続いて、企画課の審査を再開いたします。

青年結婚・UIターン促進事業については、ほかに皆さん意見はありませんか。

岡本健三委員。

○岡本委員 すみません、空き家の登録についてなんですけれども、バンクへの。登録数がちょっと少ないということで、積極的に登録をしていきたいってことで、その登録の候補空き家のリストみたいなのはあるんでしょうか。つまり、ここはもう住まなくなって、もしくは独り暮らしの方が亡くなって何年くらいになるので、ここは話を持っていけるといったような、そういう候補リストみたいなものは作つとられるんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらについては、各まち協さんとも協力しながら、例えば日野上の空き家のリスト、福栄の空き家のリストというのはできております。ただ、全ての地域っていうわけではありませんが、いわゆるここは何年経過したよってというような外観の写真等も併せて作っていただいておりますので、それについては、各全地域、今後も作っていきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

それでは、次のページの公共交通確保総合対策事業について。

坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 デマンドバスが去年10月から運行してますけども、現状での課題をどう捉えておられるか、5年度に向けてどう対応されようとしてるのか伺います。特に、自宅近くまで道路がありながら運行ができてない実態もあったかと思うんですが、その辺りの改善策等について説明をお願いします。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 失礼します。先ほどの課題をどう捉えているかというところでございます。10月にスタートしまして、今、約5か月が経過したところでございます。しかしながら、先ほど坪倉委員おっしゃったとおり、乗降場所の課題でありますとか、あと現状としまして、デマンドバスが小・中学校の臨時便を兼ねているということによるドライバーの確保など、やっぱりまだ解決しないといけないことも多いような状況でございます。乗降場所につきましては、やはり今現在、町がデマンドで使っているあのバスが10人乗り、14人乗りと結構大きいこともありまして、御自宅までお迎えに上がれないというような状況が生じております。

今後の課題としましては、小・中学校の臨時便との兼ね合いもありますけども、本当に教育委員会ともやはり協議をしていかなければいけないというふうに思いますけども、ちょっとこの臨時便をどうしていくか、例えば小・中学生の居場所の確保、こういったところも併せて検討していく必要があるのかなというふうに考えております。令和5年度につきましては、そういったことも含めて教育委員会とも協議しながら、臨時便の便数、こういったものをできるだけ抑えるような形を図れないかということを検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○久代委員長 岡本健三委員。

○岡本委員 そのデマンドバスの乗降口なんですけれども、公共施設は基本的にその出入口のところまで行くというのが、例えば役場だったら役場の前、総合文化センターだったら総合文化センターの前、コメリだったら、駐車場は入れないかもしれませんが、コメリの前までっていうのが原則だと思うんですけれども、一部の事業者さんでそれをしてないようなところもあったということを知っていますが、その辺、事業者さんとの十分な連携というか、協力は取れてるでしょうか。聞いてないか。

○久代委員長 質問の趣旨は、デマンドバスの停車場についての確認ですか。

○岡本委員 そうです。乗降場所、公共施設に関して。

○久代委員長 公共施設。

○岡本委員 はい。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 今、委員の御質問は、例えば役場なら役場で、降ろす位置が違うという意味合いのことですか。若干の例えば誤差はあるかと思えますけれども、この場所に止まってくださいというところまでの調整は多分恐らくしてなかったかなというふうに思います。ただ、安全面の確保のこともありますし、ちょっと状況を確認させていただきたいというふうに思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 いや、若干というよりは、役場に行きたいって言うてる人に対して郵便局の前しか行けませんというような、そういう対応をされてる事業者さんもあったと聞くんですけども、それはないですかね。

○久代委員長 それは、岡本委員、事実を確認されましたか。

○岡本委員 運転手さんから聞いた話なんですけれども、事業者の。（「運転手から」と呼ぶ者あり）はい。要するに、事業者さんの中でどうも連絡がちゃんと入ってなかったというような。役場はもちろん、役場の前まで来るようにという、役場からはそういう指定があるはずなんですけれども、事業者の中でそれが徹底されてなかったというような話を私は聞いたんですが、そんなことはないですか。

○久代委員長 その点について。

島山企画課長。

○島山企画課長 すみません、ちょっと状況のほうを確認させていただきます。

○久代委員長 そのほかありませんか。

大西委員。

○大西委員 2点ほどお聞きしたいんですが、過疎債（ソフト）の中で、鳥上線の運行補助ということで、これは阿毘縁のところですが、昨年度は60万で今回70万円になっておりますが、その10万の上がった理由は何でしょう。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 鳥上線の運行補助金のほうが上がった点でございますけども、今年度の実績によるもの、また、燃料費の高騰による鳥上線の実績のものによる増額となっております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 分かりました、燃料費ですね。

もう1点、定期券、回数券、販売代金が4年度は100万超しておったんですが、今回70万。30万円減額ですが、この内容はどういうことでしょうか。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 こちらも実績によるものということに。

○大西委員 実績によるもの。

○金田室長 はい。

○久代委員長 そのほか。

岡本委員。

○岡本委員 もう1個、デマンドバスについてですけれども、やっぱり今、利用者の方の話を聞いてると、一つ予約というのがちょっとネックになってると。今まではデマンドじゃないのが走ってたときには予約せずに乗れたのが、予約するのがやっぱりちょっと、特に御高齢の方は大変だということもあるんですけども、今、1時間前までの予約ということではなかなかな難しいんでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 どれぐらい短縮できるかというところですけども、日南町の場合、1路線当たりの距離が非常に長いということがまず一つ上げられます。デマンドバスの一つの特徴としまして、予約がなければ走らない、無駄な、余計な経費を使わないで済むというところもあります。それで算定をしていきますと、おおむねやっぱり1時間前というのは一つ基準になるかなと。これを路線ごとに変えるということになると、やはりまた、より利用される方の利用しにくさにもつながってまいりますので、当面は1時間前の予約とい

うことで御理解いただければというふうに思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 だから全く予約がなければ、まあ、難しいかな。ただ、多分走り出してからでも運転手の方、端末は持つとられると思うんですけども、なかなか煩雑な作業にはなるのかもしれませんが、何か工夫の仕方でもう少し。だから全く予約がないときには全く走らないというのはしょうがないのかもしれないんですけども、走り出してるんだったら、その中で調整するっていうことはなかなか難しいんですかね。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 すみません、私の説明がちょっと悪かったかなと思います。1時間前までに、どちらにしても回送する必要があります。今現在、日南町が行っていますデマンドというのは、行き先方面を指定していること、あとは出発時刻と到着時刻を指定していることということがあります。そうなってくると、仮に30分前までの予約になりますと出発点まで行くことがなかなか困難になることが生じることがありますので、回送の時間も含めて今現在の1時間で御理解いただければというふうに思います。

○久代委員長 ちょっと私のほうから。デマンド交通システムの利用委託料9,720万と、それから委託料全体で8,597万2,000円とありますけども、デマンド等、路線バスの業者のそれぞれの会社は3社あると思うんですけども、それぞれの委託料の明細について教えていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

島山企画課長。

○島山企画課長 失礼します。まず、路線バスの令和5年度の予算額でございます。路線バスは共立メンテナンスさんのほうに委託のほうをしております、5,170万円の委託費でございます。デマンドでございます。共立メンテナンスさんでございます。1,312万6,666円の委託費でございます。日南交通さんでございます。1,151万3,332円の委託費でございます。NPO多里さんでございます。645万399円の委託費でございます。以上です。

○久代委員長 分かりました。

そのほか、公共交通確保総合対策事業については。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

次、25ページ、タウンズネット管理運営事務について。

岩崎委員。

○岩崎委員 DX人材育成及びデジタル技術体験イベントの実施、これは説明にはeスポーツイベントなどという表現がしてあるんですけども、昨年度行いました、これはMinecraftの事業ということで、ほかにも何か含んでおるのでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 令和4年度、行いましたMinecraftの事業も含め、プラスアルファといたしまして、今現在、日南町のDXの連携企業さんにも声かけさせていただきまして、実際の今の各企業さんの持たれてる一番のノウハウというところを体験できるようなスペース、例えば5Gの体験であったりですとか、AIカメラ、こういったところの体験ができるブースというのをつくって、今の日南町にいる子供たちも中心に、今現在の技術ってどんなんだよっていうのを味わえる場づくりっていうのをやっていきたい、こういった費用を含めさせていただいております。以上です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 Minecraftにつきましては、以前、全協で説明等もあったんですけども、その中で日南町長賞というのを新たに作るということで、日南町を売り出していこうということであったんですけども、そこで何か商品を出すということがあったんですが、その商品の予算というのはこの中に組んであるのでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今計上させていただいております、合計金額280万で計上させていただいておりますが、その中の委託の中に、若干ではあります、積算の中では組まさせていただきます。以上です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 もう1点、電算室の機器を撤去されるんですけども、撤去後の電算室の活用というのはいかようになりますか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今現在、サーバーラック等がございますが、そちらのほうをなくしてある程度フラットな状態で今想定しておりまして、最終的な活用方法ということにつきましては、総務課と協議をしていきながら、より、役場の中、部屋も限られておりますので、有効的な活用できるように協議のほうを行ってまいりたいと思います。以上です。

○久代委員長 荒木博委員。

○荒木委員 6番の鉄塔の建設ですね、3塔、これについてももう少し詳しくお願いします。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほう、本定例会会期中の中の一般質問の中でもあったかと思えます。今現在、いわゆる不感地域って言われるところにつきましての対策について、キャリアのほうにお願いをして、一緒に建てる手段というのがないかということを探してるところでございます。今回、3塔分ってことで上げさせていただいておりますのは、いわゆる国の補助を使つてのエリア整備事業ということになりますと、メインとして家屋があるところに向けて鉄塔を建てるってことは禁じられております。ただし、道、いわゆる道路ですね、町道、県道、国道、その付近に建てたことによって二次的にエリア拡大、今入ってないところの家に電波が入るのはオーケーだつていうのは、国庫補助上、オーケーを、確認はできておりますんで、そういったところを中心に、今エリアになってないところ、そういったところをうまく見いだしていきながら、キャリアにお願いしていかないといけない部分もありますので、協議のほうを進めてまいりたいと思っております。以上です。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 今のお話ですと国の補助も出るということになりますが、どうでしょう。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 ページにしますと26ページになりますが、今回、携帯電話等エリア整備事業補助金ということで、2分の1の事業費のほうを国庫補助、予算上、計上させていただいております。こちらのほう、結果として事業採択等もありますのであれですが、国の補助、いわゆる総務省からの補助金というのを想定したものになります。以上です。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 もう一つ、携帯電話のメーカーって大体4つぐらいございますよね。鉄塔建ったときは1社ですか。それとも何社かその鉄塔に取り付けることになるんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 1つの鉄塔に対して複数のアンテナをつけるっていうことは可能となっております。ただし、すみません、私自身が技術的な、何社までぶら下がるのかっていうところまでは把握し切れておりませんで、少なくとも2社以上、2社というところは1つの鉄塔の中につけることができるのは確認できておりますので、より多く、限られたキャリアにならないような方法は考えてはいきたいと思っておりますが、いずれにしても、1社でも電波が入るといった環境は整えてまいりたいと考えております。以上です。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 この事業でどの程度解消できる予定でしょうか。電話が通じない地区がどの程度解消できるか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 日南町全体ではまだまだ多く不感地域のほうありますが、今回、この予算につきましては3エリア分を今想定しております。そこに係る家の数ということになりますと、1か所当たり、多いところでも5世帯、少ないところでは2世帯というところがありますが、そういったことを今想定しております。以上です。

○久代委員長 よろしいですか。

そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、続いて、地域振興センター管理事務に移ります。27ページ。

大西委員。

○大西委員 備品購入の、各地域に大型モニター約160万出てますが、7地域にもし全てされるならば何インチの大型テレビなんですか。単価は幾らですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今想定しておりますのは、おおよそ50インチ以上のものを想定はしております。いわゆる70インチクラスになりますと金額が跳ね上がりますんで、いわゆる金額的に安く買える部分ってなりますと65インチまでが比較的同じような金額になりますんで、それくらいのサイズ感を今想定しております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 今、50、それで65、70とありましたけど、予算見積りは幾らでされたんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 失礼いたしました。予算は50インチで見積もっております。以上です。

○久代委員長 そのほかどうでしょうか。

大西委員。

○大西委員 すみません、各地域のセンターで、今現時点で何インチのテレビ持っとられますか。逆に言うと、思いですよ、やっぱ金額はありますけども、せっかくしていただくなら、大体50インチ近いものばかり持っとるか、40インチが、思うんですが。（発言する者あり）あ、そうですか。できる限りいいもので、今、寿命長いんでね、大きなもので。それしか言いようありません。金額でマックス65ができるならばいいと思います。

よく検討してください。よろしく申し上げます。

○久代委員長 答弁はよろしいですね。

○大西委員 はい、結構です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 今のテレビの話ですけど、これは事務所に置くテレビの話ですか。どこに設置する。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 各地域振興センターで活用してもらいやすい場所、テレビだけではなく、いわゆる下の土台も置きますので、可動ができるような状況で、センター内で活用していただくことを今想定しております。以上です。

○久代委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 それはまち協からの要望だったかどうか分かんないんですけども、いわゆるテレビ会議的なものに使うのであれば50インチなんて、言やあこれは個人の家庭で使うレベルのもので全く使い物にならんとしますし、こうやって予算が上がってるんですけども、それでしたらプロジェクターとか、そのようなものを使って全体の会議で使えるようなものを提案されるべきだったんじゃないかと思います。これは予算の要求なんで、それはそれなんですけども。それちょっと一言、言うときます。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 見積りのほう自体は50インチのほうで取りましたが、メーカーも踏まえて検討する中で、より大きなもの、先ほど大西委員からもありましたように、できる限り大きなもので、かつ多くの人に見てもらえるようなものになるようにしていかなければ、先ほど岩崎委員おっしゃられた、何のために入れたんだって話になりますんで、活用しやすい、利便性のいいものというのを購入時には考えた上で配置したいと思います。以上です。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、次、28ページの指定統計調査事務について。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。

それでは、改めて資料説明をお願いいたします。

課長。

○島山企画課長 失礼します。そうしますと、29ページから32ページ、商工費につきましての説明をさせていただきます。

まず、29ページ、商工総務一般管理事務の説明に入らせていただきます。予算額2,280万1,000円、対前年比139万円の増でございます。主な増額要因であります。たったもカード運営に係るスマートフォン用アプリ構築委託料と、たったもカード地域内経済循環対策事業によるものであります。令和4年2月22日に運用を開始し、1年間が経過いたしました。住民の皆様の利用促進、町内での経済循環促進につながるよう引き続き推進してまいります。また、観光部門と連携した活用など、域外からのお金獲得につながる仕組みも検討してまいります。サイクルロゲイニング、食のバザールにつきましても、多くの皆様にお越しいただき、町内経済活性化につながるイベントとなるよう実施してまいりたいと思っております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、30ページ、企業支援対策事業でございます。予算額1,672万5,000円、対前年比83万2,000円の増でございます。主な増額要因でございますが、日南町チャレンジ企業支援補助金に新たなメニューとして、観光・インバウンド対策支援事業を創設したことによるものであります。行動制限が緩和され、徐々にインバウンド関連の来日が増加しております。日南町におきましても、商工会と連携し、サイクリング観光マップを作成し、令和4年度にはインバウンド向けモニタリングツアーも実施いたしました。引き続きインバウンド受入れにつながるよう準備のほうを進めてまいりたいと思っております。また、物価高騰、原油高については、収束が見えない状況が続いております。町内事業者の状況を注視しながら、必要なタイミングに必要な支援策が打てるよう、商工会と連携し、進めてまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、31ページ、観光振興対策事業であります。予算額7,161万3,000円、対前年比1,664万9,000円の増でございます。主な増額要因であります。山里L o a dにちなんへの委託費に係る人件費、福利厚生費、租税公課費、生山駅開業100周年事業の増によるものでございます。法人化して1年が経過し、今後は町からの委託事業のみならず、積極的な自主事業による自主財源の確保が求められます。町としましても、必要な支援は行いながらも、自立した組織として運営していけるように指導してまいりたいと考えております。

令和5年度の動きであります。令和5年度に生山駅、令和6年度に上石見駅が開業100周年を迎えます。100周年記念プロジェクト実行委員会を立ち上げ、日南町ならではのセレモニー、イベントを検討してまいります。セレモニーにつきましては、11月頃

を予定しております。また、山里L o a dにちなんでは、収益確保事業を構築していくため、山麓協など関係機関とも連携し、モニターツアー等、積極的に展開していく予定としております。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

最後に、32ページ、公園施設管理事務でございます。予算額87万1,000円、対前年比1,307万円の減でございます。主な減額要因でございますが、人件費の皆減と三本松トイレ改修工事の皆減によるものでございます。通常の公園管理につきましては、引き続き山里L o a dにちなんへ委託を行い、実施してまいります。執行経費、財源につきましては記載のとおりでございます。

以上、商工費の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○久代委員長 それでは、29ページの商工総務一般管理事務から。

櫃田洋一委員。

○櫃田委員 キャッシュレス決済事業ですけども、月1回のプレミアム（チャージ）ポイント5倍というのが書いてあります。今年度は2月末で終了しました。それで、これは非常に事業者さん、あるいは町民の皆さんからも要求が多い事業だと思います。来年度、5年度は何か月間されますでしょうか。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 来年度につきましては、4月から月1回、毎月行いたいというふうに考えております。日にちにつきましては、まだ商工会と今詰めておりますけども、第4水曜日、もしくは22日、どちらかで調整したいというふうに考えております。

○久代委員長 櫃田洋一委員。

○櫃田委員 私の質問が悪かったかしらん。月に何回ではなくて、何か月間、例えば4月から何月までされますでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 すみません、失礼しました。4月から3月まで年間通じて行いたいというふうに考えております。

○久代委員長 櫃田委員。

○櫃田委員 あと、観光客向けのたつたもカードデザイン費というのが8万3,000円あります。現在、町内の茶色いカードと、それから町外向けの緑ですか、緑色のカードが発行されてると思うんですが、さらに3種類というふうに書いてあります。それは、そのデザイン料に8万3,000円も払う必要があるんでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほうのデザイン費用でございます。多くの方に来ていただく観光客向けということで、1つは、今検討しておりますのが、先ほども課長のほうから説明いたしました生山駅100周年に併せてオリジナルの、今現在のデザインではなくて、日南町の景色が写ったような、プレミアムがあるようなカードというものも検討していきたいということで、このような形でデザイン費のほうを計上させていただいております。以上です。

○久代委員長 櫃田委員。

○櫃田委員 それは分かりました。そうすると、現在、例えば町内の町民さんが持たれてる茶色いカード、その町外さんの緑カード、やはり茶色より緑のほうが好きな人もいるわけなんですね。それを新たに購入というか、それは入手すればいいんだけども、そうすると今度、企画課からの、何ていうか、登録が、いろいろ町内からいろんな例えばポイントが町民の皆さんに入ることがありますよね。そういったときには、新たに申請し直せば、私たち町民は緑色のカードを持つことができるのか、さらに日南町の駅の100周年に向けた何かスペシャルのカードを入手して企画課に変更の届けを出せば、それがメインのカードになるっていう、そういうことは可能なんでしょうか。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 町内向けと町外向けを分けている理由としましては、町内向けは本当に、例えばスペシャルポイントの付与でありますとか、そういったときに一括して町のほうから付与ができるようにするものでありますので、やっぱり同じ方が例えば緑と赤、物理的に持てなくはないとは思いますが、やはり町内の方には、色の好みは多少あるかもしれないけれども、今現在の赤いものをメインとして使っていたきたいなというふうに思っております。

また、先ほど榎尾室長が説明申し上げました観光のものに関しましては、現在、皆様に御利用いただいておりますICチップが入ったものではなくって、もっとちょっと簡素で、もっとぺらぺらといいますか、ICカードが入らない、QRコードで読み取りができる簡素化したものにしたいというふうに思っております。ですので、それはどちらかという、例えば観光とかに来ていただいたときに、ちょっとプレミアムをつけて販売することによって、その差額を町内に落としてもらいたいようなイメージを持っておりますので、基本的にそちらに切り替えていただくというようなことは考えていない状況でございます。

○久代委員長 よろしいですか。

○櫃田委員 はい。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 ちょっと2点ほど。先に観光客向けカードですけども、3種類で7,000枚作る予算ですね、それで66万円、1枚当たり単価95円ですが、この費用を使っただけでもカード、何ポイントつくか分かりませんが、それはただ単に作る、それ一回限りで終わるのか、ずっと継続的に、観光客向けですから、リピーターということですか。どうなんでしょうか。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 今回、予算のほうは3種類作るようにしております。1つは、まず蛍、イチョウにつきましては3,000枚ずつ作成したいなというふうに考えております。こちらについては、もし余れば恐らく翌年度も使えるかなというふうに考えます。生山駅100周年につきましては一応1,000枚を作成予定にしておりますので、これについては今年度中に何とか全て利用していただきたいなというふうに考えております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 その場合、例えばポイントは幾らつける予定なんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今現在想定しておりますのが、1,200ポイント入りのカードを1,000円で販売することを今検討しております。まだ最終的な詳細というのは決まっておりませんが、このような形で今打合せのほうを行っております。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 もう1点だけ。たったもカードということで、すごい町内循環ということでよかったんですけども、当初から46事業所ですけども、いろんな声の中で、あそこも入ってほしいな、いや、事業所にとって、いや、それは入っても経費かかるばかりでということですが、46が最初からですけども、新たな、例えばあと50とか60とかなるような取組で何が弊害なのか、入っていただけないのか、そういった機器を買わないかん、その取扱い方法なのか、その辺は商工会とか、実際には商工会なんですけど、打合せでどうなんでしょう、ちょっと増やすという。町民の声は、結構、もうちょっと増やしてほしいという声があるわけですけども、どうでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 今現在でございます。今現在、加盟店47事業者になっております。大西委員おっしゃるとおり、例えば大手の会社であるとか、入っていただけたらいいなという声は企画課のほうにも寄せられております。実質、うちの担当職員も商工会と連携をしながら声かけは随時行っているような状況です。当初の目標、やっぱり町内50を目指そうということでスタートしておりますので、まだあと50社ぐらいまでは何とかいけるように頑張っていきたいなというふうに思っております。声かけはずっと続けておりますので、何とか今年また増やしたいなというふうに思っております。

○久代委員長 大西委員、よろしいですか。

○大西委員 はい。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 1点だけ。食のバザールですけれども、年度内に何回開催される予定でしょうか。何月か分かれば、そこまでお願いします。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 令和5年度でございます。今年度と同様に、ふる里まつりと併せて実行したいなと思っております。あわせてお仕事フェアでありますとか、そういった、ちょっといろいろ複合的なイベントで開催をしたいというふうに思っております。年1回を想定しております。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 まず1つは、同僚委員から以前指摘があったと思えますけど、印字の小ささ、これまだ改善してないような気がするんですけど、改善は無理なんでしょうか。（「レシート、レシート」と呼ぶ者あり）レシートの印字の小ささ、そうです。

○久代委員長 レシートの文字。

島山課長。

○島山企画課長 これにつきましては、全国的に同じ仕組みを使っているということもありまして、業者のほうには相談をしましたが、ちょっとなかなかすぐに、うちだけのために改修ということにはなかなかならないような状況でございます。ただ、そういった声が多く寄せられるようであれば、続けて声かけはしていきたいというふうに思います。

○久代委員長 岡本委員。

○岡本委員 分かりました。

それで、別のことなんですけれども、一般質問のときに、私じゃないですけども、資料

で提供いただいたプレミアムポイントの付与ポイントの実績を見ると結構極端に少ない日があるんですね、倍率が3倍ということもあるかもしれませんが。それで、一つ私が聞いたのは、大雪で不要不急の外出をやめてくださって言うてる日に、同時にたったもポイントの何倍デーですっていうことをやってるっていうような、それはおかしいんじゃないかという声もありまして、そういうときは柔軟にちょっと変えるということも考えていただいてもいいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○久代委員長 島山課長。

○島山企画課長 柔軟に対応していきたいというふうに思います。

○久代委員長 広報ができるならば曜日を変えることもできるけど、もし混乱をかえって来すようならよくないと思いますが、どうでしょうか。

企画課長。

○島山企画課長 失礼いたしました。委員長おっしゃるとおり、混乱を招いてもいけませんので、しっかりと住民の皆様に広報、周知ができる期間があれば検討はできると思いますが、そうでない、今回の大雪のときの場合なんかは本当に誰も想定できないような状況でありました。確かにそのような、何というか、放送が一部では外出控えろと言いながら一部では5倍デーですというようなことは確かにちょっと私たちも気が回らなかったなというふうに思いますので、ちょっとその辺は注意していきたいなというふうに思います。どうぞよろしくお願ひします。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、30ページ、企業支援対策事業について。

近藤仁志委員。

○近藤委員 観光・インバウンド対策支援というのがあるわけですが、50万の2件というところで、これは支援という形ですので、どこに支援されるのか、その事業主体はどこなのか、ちょっと教えていただきたいといます。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 この観光・インバウンド対策支援ですけども、従来ありますチャレンジ企業支援補助金の一つのメニューとして新たに追加されるものでございます。対象としては、その観光・インバウンド対策に手を挙げられる企業さんが、商工会の相談の上で、役場のほうに、町のほうに申請をされるという流れになります。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 確認です。要するに、観光・インバウンド対策に特化したチャレンジ企業の方に対する支援ということによろしいですか。

○久代委員長 金田室長。

○金田室長 失礼します。説明が足りませんで申し訳ありませんでした。例えば訪日外国人観光客などを対象としたメニューの開発をする企業さんであったりとか、インバウンドを意識した外国語表記の案内をつけるとか、そういうようなことの活動をされるというのが今のところの想定でございます。そのような企業に対して支援をさせていただこうということで、今回新たにメニューに追加させていただきました。

○久代委員長 近藤委員、よろしいですか。

○近藤委員 はい。

○久代委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 おしごとバンクについてであります。数年前からおしごとバンク、検討されておりました、一昨年からおしごとバンク交流会ということで試行的にやられておりました。昨年6月以降、それもないわけですが、このおしごとバンク、どういう形で進められようとするのか、最終目的をどういうふうにされてるのか、伺いたいと思います。先般もありましたけども、隙間でお手伝いという形の説明もありました。しかし、これは従来のおしごとバンクとはちょっとスタイルが違うのかなど。我々として期待をするのは、例えばインターネット、コンピューター上で求職者と求人者がマッチングできて、1週間先に手伝いに来てくれませんかというような、あるいは働かせてくださいというようなマッチングができればベストかなと思うんですが、目指すところ、そしてフローチャートとして、いつの時期にこれを、ショートタイムワーク、形にされる予定なんですか。

○久代委員長 島山企画課長。

○島山企画課長 こちらにつきましては、今本当にちょっと試行を行っているという状況でございます。以前も説明をさせていただいたかと思うんですけども、今現在考えてるのは、坪倉委員おっしゃるような形が我々も目指すべき姿だと思っております。基本的には、今年度、令和5年度をかけて令和6年度から形にできるように、進めるように今準備をしておるところでございます。

○久代委員長 よろしいですか。

そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、次、31ページの観光振興対策事業について。

大西委員。

○大西委員 2点ほどお聞きしたいんですが、まず1点目は、総務管理費が前年に比べて1,100万円増えております。この大きな内容を教えていただきたいです。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほうでございます。まず、大きなところで申し上げますと、人件費1人分増が上げられます。続いて、大きな部分で申し上げますと、租税公課、いわゆる法人税ですとか消費税、こういったところが、事業費膨れたことによって前年比約270万円増えているのが現状でございます。こういったところが大きな要因となります。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 いや、1,100万ですから、法人税どうのこうのは270万で、人件費は幾らの増なんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 人件費のほうですが、本日別紙でつけさせていただいてます資料のほうと併せて見ていただくと分かりやすいんですが、提出させていただいております資料に、いわゆる赤色で掲示させてもらってます人件費が5人分、こちらのほうに掲示をさせていただいております。そちらの人件費、総トータルが上がってきております。青年結婚と人件費のほうを分けておりますので、青年結婚のほうは4人分、こういった形での割り振りで、昨年度と、すみません、割り振りの仕方を変えさせていただいてるところがあるので、全体で申し上げますと335万5,000円、山里としての人件費の増となっております。以上です。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 じゃあ、そうすると約600万ぐらい、要するに1,100万増なんで600万、あと500万の、もう一個ぐらいで結構、どういう内容が増要因なのか教えてください。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 いわゆる諸経費、総務管理費に当たる部分、観光案内所の運営費ですとか、営業費、経費、研修費、情報発信費、こういったところの経費を入れさせていただいておりますので、こういった形でトータル1,200万円増ということになっております。内訳については、すみません、別紙でつけさせていただいてるものを御確認いただければと

思います。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 じゃあ、あと1点だけ。レンタルサイクル事業で、昨年は180万の予算で電気自転車、購入されました。今年度は96万4,000円、約半額なんですけど、電気の自転車を何台購入予定なんですか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 新しく自転車の購入のほうは行いません。今持っております8台のほうで運営を行います。ここで上げさせていただいております96万4,000円につきましては、いわゆるレンタサイクル、そのサイクルツアーというところを確立していくためのプロモーションですとか、維持管理費、あとは繁忙期におけるコグステーション対応の臨時のアルバイトさんの賃金というのを組まさせていただいております。以上です。

○久代委員長 岩崎昭男委員。

○岩崎委員 伯備線の100周年記念プロジェクトの関係ですけれども、山里Loadに委託する部分、そしてあと別途、開業100周年記念式典ということで2つに分けてありますけれども、今、伯備線のほうはJRのやくもの、以前は国鉄色の色を塗ったり、それから今紫色とか、それからサンライズ出雲、そんな関係でかなり撮り鉄の方が来て話題になっております。それこそユーチューブの中にはすばらしい、もういっぱいサンライズも、東京から乗って出雲に来てってということで宣伝効果があると思います。1つ提案なんですけど、この中で、例えば有名なユーチューバーさんとかを招待して記念イベントとか、PRするとかかなりの誘客が見込めるような気がします。ちょっと参考に、そういうようなことを取り組んでみられたらどうでしょうか。すみません。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 ありがとうございます。一番の課題は、生山駅100周年を、式典をするってところもありますが、先ほどお話ししていただいた、いかに日南町に来ていただくことをつくるのか、どういったきっかけをつくっていくのかってところが重要になってまいりますので、今お話ししていただいた、ユーチューバーさんにきちんとアプローチできるかどうかはちょっと別にして、多くの、いわゆるインフルエンサーっておっしゃられる方に声かけをしながら、日南町に来てもらって発信を一緒にできるような体制っていうのは組んでいきたいと思います。以上です。

○久代委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 同じく生山駅の100周年記念の式典ですけど、これ、いつの時期を予定、想定されておられますか。（「11月」と呼ぶ者あり）

○久代委員長 11。

○近藤委員 11月か。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 セレモニーにつきましては、生山駅のほうが11月の28日が100周年のちょうど日になります。今、この日を踏まえた前後のあたりにセレモニーというのは考えております。ただし、先ほどお話しさせていただいたユーチューバーさんと呼んでというイベントですとか、こういったところにつきましては、5年度、6年度、上石見駅も含まれた形で、いわゆる100周年イヤーというものを検討して、この2か年でいろんなイベントというのを打っていきたい、冠として打っていきたいと想定しております。以上です。

○久代委員長 近藤仁志委員。

○近藤委員 開業が11月28日ということ、その前後ということ想定されておられるようですが、日南町の一番すてきな時期、そういうときにまたこういったイベントをするという考え方もあろうと思うわけなんですよね。ちょうど11月28日というのがどういう季節なのか分かりません。恐らく紅葉が終わってるんじゃないかと思うわけなんで、それよりも若干早めてでも日南町の紅葉のきれいなのを見てもらうというのを、生山駅周辺も大変きれいで感動されますので、そういった考え方もあるんじゃないかと思いますが、その点どうでしょう。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 ありがとうございます。今、11月28日っていうのは、あくまで生山駅がちょうど100周年到達する日ってことですので、先ほど委員のおっしゃられました、例えば11月の上旬から中旬にかけてはイチョウも大変きれいな時期になります。生山駅周辺の石霞溪周辺も紅葉できれいな時期に当たりますので、その辺りは、より効果的な時期というのは模索していきながら検討してまいりたいと思います。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 それとですけど、以前も聞いたかもしれませんが、大山山麓・日野川流域観光推進協議会というのの事務局、それと、これの活動内容についてお伺いしたいと思います。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 大山山麓の、いわゆる山麓協の事務局につきましては、鳥取県の西部総合事務所内に事務局、プラス米子市の観光部門が事務局が持っております。主な内容としまして、大山周辺の観光というところもあります、日南町で申し上げますと、モニターツアーですとか、今年度に関してはM i n e c r a f tのイベントにつきましてもこの山麓協の中で行っております。それ以外に、過去、モニターツアーとしてというところで申し上げますと、たたら弟子旅ツアーというのを一昨年行ってまいって、来年度は実際の商品化というのをやる予定にしております。すみません、ちょっと前後して申し訳ないんですが、今年度については、先日、スノーシューを使ったイベントというのも、体験イベントもやっております。こういった形でいろいろさせていただいているのが現状でございます。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 昨年も今年も600万ほど負担金を払っているわけなんです、それに見合った、何か、メリット、バックが十分この対応、取組の中で得られていると、現在のところはどのように反省されておられますか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今回、山麓協のほうに負担金って形で、先ほどお話ししていただいた600万近くを払って、こちらに事業申請をして行うというところで事業実施をしております。このことについて、より多くの人を集めてというところには至ってはおりませんが、あくまで、より多くの人を集めていくために日南町の魅力をどうツアーの中で生かしていくのか、ブランド化していくのかというところの整理のほうを行ってるのが現状です。そういった中で、たたらというところについては商品化できたりしておりますので、そういったところではうまく効果というところは見えるのかなとは思いますが、何ていんでしょう、商品化もこれからが本当の勝負というところに、今までは、いわゆる補助金に頼ってツアーを行っていたのが現状でございます。これから自主財源を得るために、日南町をPRしていくためにどうやっていくのか、こういったところが、次、山麓協の事業から外れた後に求められるところになってまいりますので、そこはしっかりとした成果を出していきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 近藤委員。

○近藤委員 この大山山麓・日野川流域観光推進協議会の活動報告のようなものがあつたら資料として提供したいと思っておりますが、どうでしょうか。ありますか。（「提供してもら

うんでしょ」と呼ぶ者あり) いやいや、あるかないか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 こちらのほう実績がございますので、まとめて出したいと思います。

○久代委員長 資料提供をしてもらおうということで、よろしいですか。

荒木博委員。

○荒木委員 ちょっとよく分からなかったの、もう一度、生山駅と石見駅の事業に関してですが、この真ん中辺りに2か年にわたる事業ということがしてあります。その後、下の委託料では両方含めて220万というふうになってますが、これをどういうふうに取りれば、解釈すればよろしいでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 生山駅と上石見駅の100年になる日というのが、ちょうど1年、ほぼ1年違っております。具体的に申し上げますと、生山駅開業したのが大正12年の11月28日、上石見駅につきましては大正13年の12月6日、約1年、ここに差があります。2か年にわたって、いわゆる事業のほうは行ってまいりますが、予算のほうは、すみません、単年度単年度である程度予算は組ませていただきながら、事業実施のほうはしていきたいと考えております。以上です。

○久代委員長 荒木委員。

○荒木委員 ということは、5年度は220万の予算で、6年度はまた予算が別に組むということですね。

○久代委員長 古都勝人委員。

○古都委員 旧木下家の関係の予算が組んでありますが、前年に比べて約25万増額になっております。私は管理で何をされとるのがよく分からないんですけども、そこら辺について若干説明いただけませんか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 管理のほうでございます。管理につきましては、いわゆる水道光熱水費というところの管理をしているのと同時に、水道光熱費の維持管理、例えば草刈りですとか、あとは除雪、ここ近年多いのが蜂の巣の駆除、蜂の巣というのが結構あつたりしますので、その駆除代等も管理費用の中に入れてさせていただいております。あと、一番大きいのが、雨どいのほうが少々傷んでいるところがございますので、被害が拡大する前にこちらのほうは直していきたい、このようなものを含めさせていただいております。以上です。

○久代委員長 古都委員。

○古都委員 説明いただきましたけれども、いつ通ってもあそこ門が開いてないんですね。かねてから申し上げておりますけれども、せめて盆とか、5月の連休とか、あそこお客さん来られるときには開けといていただかないといけないと思うんで、管理でそこら辺もお願いしたいと思いますが、お気持ちはどうでしょうか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 まさしく委員のおっしゃられるように、あその木下家の門を開けてあることによって、車を止めてあそこに入ってこられるっていうお客様も現にいらっしゃると話は聞いております。より多く木下家の活用ができるような体制というのは、山里L o a dも踏まえた形での検討をしていきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 古都委員。

○古都委員 そういった時期には駐車場がないんですね、あそこは、全く。道に止めないといけないという状態ですが、以前から申し上げますように、屋外トイレとか駐車場とかも計画的に整備されないと、なかなかお客さんが困っておられるようでございますので、また後日、検討してください。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 ありがとうございます。屋外トイレ、駐車場もですが、検討していかないといけないところとなっております。駐車場について、今年度、阿毘縁のむらづくり協議会さんのお世話になって、あそこを一部バラスを敷いて、車を止めやすいというのは確保しました。こういったところ、むら協さんとも協力しながら実施していきたいと思っております。以上です。

○久代委員長 坪倉勝幸委員。

○坪倉委員 今年1月の大雪で日野上の大イチョウの枝が折れました。その後のNHKなど、テレビ報道によって、その折れた枝を文房具などに加工するところはいいいんですけども、その売上げの一部を雪害対策に利用するっていうふうには理事長は申されとるんですね。その辺、そのことについてどういう対応されるのか伺います。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 今回、先ほどお話ししていただいたように、売上げに関しましての一部に関しては、雪害に限らず、イチョウの木を守るための管理費、こういったところに充てていきたいと思っております。具体的にというところがまだ、詳細、山里でも詰めれてないと

ころがありますんで、いろんな専門的な方の御意見を聞きながら、イチョウの木を守って
いけるような費用のほうに充てていきたいと思います。以上です。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは、続いて、32ページの公園施設管理事務について。

大西委員。

○大西委員 以前、ドッグラン、あの公園は今整備してきれいになっとるわけですけども、
菅沢の公園。私は以前に、看板が曲がっておって本当に恥ずかしいなど、町外の方が、何
という公園のですね。私、以前、指摘したと思うんですよ、昨年。そのときはたしか企画
課は御存じだったと思うんですが、あの看板、どうなってるか見てください。そこら辺を
ちょっとちゃんと整備しないと。御存じですか、看板がずれてます。分かりにくいです、
ちびっこ王国の。見られましたか。

○久代委員長 榎尾室長。

○榎尾室長 たしか決算審査の特別委員会で同様の指摘をいただいていたかと思います。す
みません、私の認識が間違っ、そのときお話ししていただいた認識が間違っていたのか
もしれませんが、私が受け取ったそのときの思いが、あそこに表示がないっていう、見に
くいついていきますか、その時点でちびっこ王国という表記、今、柵のほうにちびっこ王国
という、つけさせていただいてはおりまして、そちらのほうは今年度新しくつけたのはつ
けたんですが、先ほどお話ししていただいた看板が曲がっているというところの、すみま
せん、認識がありませんでしたので、改めて現場のほうを確認したいと思います。以上で
す。

○久代委員長 大西委員。

○大西委員 確認してください。私、よくあそこ通るんでね、気になっとるんですよ。や
はり町外の方も結構通られますんでね。それから、何人かやっぱり通ると遊んでおられま
すんでね。やっぱり日南町であそこ、町民もおられますけども、町外の方もおられますの
で、最低でもきれいに、早急にさせていただきたいです。

○久代委員長 そのほかありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で企画課の審査が終わりましたけども、全体として企画課に再度お聞きしたいとい
うことがあれば。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか、皆さん。

それでは、企画課の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

以上をもちまして本日の予算審査の特別委員会を終了したいと思います。大変長時間に

わたりお疲れさまでございました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長

副委員長